


364mm

## 保証書

品番	BZMT-18CD		
お買上げ日	平成	年	月 日
保証期間	お買上げ日から1年間		
お客様	〒 —		
	ご住所		
	お名前	様	
	電話番号	—	—
販売店名	印		

## 個人情報の取り扱いについて

- 保証書にご記入いただきました個人情報(氏名・住所・電話番号)につきましては、以下の通り取り扱いいたします。
- 利用目的：記載された個人情報は本製品にかかわる業務においてのみ利用します。
- 取得した個人情報は、法律上許される場合を除き第三者に提供することはありません。

**ご注意：**  保証については「アフターサービスについて」のページで重要な内容と事柄をご覧ください。事前にご一読いただきますようお願いいたします。



愛情点検

## 長年ご愛用のレコードプレーヤーの点検を

こんな症状はありませんか

- 煙が出る
- 異常なニオイや音が出る
- 内部に水や異物が入った
- 音が出ない
- 本体の変形や破損がある
- その他の異常・故障がある

ご使用中止

電源を切り、コンセントから電源プラグ抜いて、お買上げの販売店又はサービスセンターに点検をご相談ください。

## サービスや修理に関するご相談

〒399-4603  
長野県上伊那郡箕輪町三日町655  
ビズライフお客様サポート

TEL : 0265-70-9257 FAX : 0265-96-0258  
受付時間 : 10:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00  
月曜日～金曜日(祝日を除く)

製造者  
**株式会社 ビズライフ**

〒101-0021  
東京都千代田区外神田4-7-7  
ソフト99ビル6F  
メールアドレス : info@bizlife.co.jp

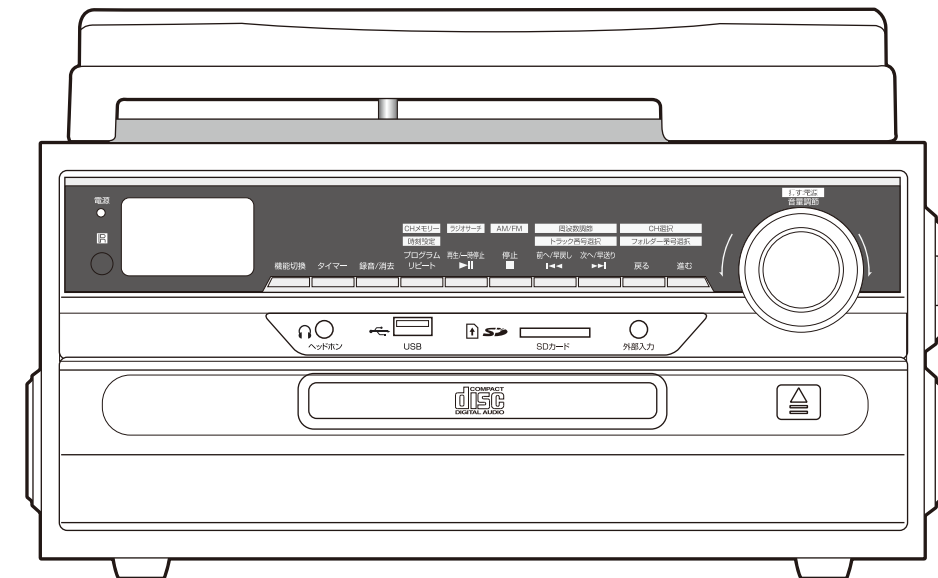
**X-BEAT** マルチミュージックコンポ

## 取扱説明書

品番 BZMT-18CD

この度はマルチミュージックコンポをお買上げいただきましてありがとうございます。

製品を正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。



■この製品は家庭用です。

保証書付

257mm

# もくじ

## 確認と準備

- 安全上のご注意・・・2
- 著作権について・・・4
- 各部のなまえ・・・5
- 運転前の準備
  - ：確認と電源・・・7
  - ：時刻を合わせる・・・8

## つかいかた

- 電源を入れる・・・10
- 音量を調節する・・・10
- 機能を切り換える・・・11

## CD の操作

- CD について・・・12
- CD をセットする・・・13
- 操作のしかた
  - ：基本の操作・・・14
  - ：プログラム再生・・・15

## USB の操作

- USB メモリーについて・・・16
- USB メモリーを
  - セットする・・・16
- 操作のしかた・・・16

## SD/SDHC の操作

- SD/SDHC について・・・17
- SD/SDHC を
  - セットする・・・17
- 操作のしかた・・・17

## レコードの操作

- レコードについて・・・18
- レコード針の交換・・・19
- レコードをセットする・・・20
- レコードを再生する・・・21
- オートストップ機能
  - について・・・22

## カセットテープの操作

- カセットテープ
  - について・・・22
- カセットテープを
  - セットする・・・23
- 操作のしかた・・・23

## 外部入力の操作

- 外部入力で聞く・・・24

## ラジオの操作

- ラジオを聞く・・・25
- 操作のしかた・・・25

## 外部出力の操作

- 外部出力で聞く・・・27
- ヘッドホンで聞く・・・27

## タイマーの操作

- 入タイマーを設定する・・・28
- 入タイマーを使う・・・30
- 切タイマーを設定する・・・30

## 録音 / 消去の操作

- 録音 / 消去について・・・31
- 録音をする①・・・32
- 録音をする②・・・33
- 消去をする・・・34

## その他

- お手入れのしかた・・・35
- 故障かなと思ったら・・・36
- 製品仕様・・・38
- アフターサービス・・・40

※取扱説明書に使用されているイラストは、一部省略されている場合があります。

※この取扱説明書で「SD/SDHC」と説明している場合は、次のメディアを指しています。

- ・SD/SDHC
  - ・mini SD/SDHC
  - ・micro SD/SDHC
- ※mini/micro タイプはアダプターを装着した場合となります。

# 安全上のご注意


必ずお読みください

ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。製品を安全で正確にお使いいただき、お使いになる人や周りの人々への危害・損傷を未然に防止するために守っていただくことを『△警告』と『△注意』に分けて説明しています。


 記号は<禁止>(しないでください)を表示します  記号は<強制>(必ずしてください)を表示します

## 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容


### 改造、分解、修理をしない


 改造、分解、修理は絶対にしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店又はビズライフお客様サポートにご相談ください。


### 異常等があるときは使わない


 異常(煙が出る・異音がする・異臭がする等)があるとき、又は落下等により破損した時は電源プラグを抜いて本機の使用をおやめください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。


### 電源プラグ・コードは正しく使う


 次のような電源コードが破損するようなことはおやめください。  
 ・ねじる・引っ張る・無理に曲げる  
 ・束ねる・加工する・重い物を載せる  
 ・挟み込む・熱器具に近づける  
 火災や感電の原因となります。


 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
 感電の原因となります。

 電源プラグやコードが傷んでいる時は使わないでください。  
 感電・ショート・発火の原因となります。


 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。不完全な差し込みの場合、感電や発熱による火災の原因となります。

 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。  
 コードを引っばると、感電・ショートによる発火の原因となります。


 電源プラグのほこり等を定期的に乾いた布で取り除いてお使いください。  
 汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因となります。  
 ※お手入れの際は、安全のため電源プラグを差し込み口から抜いてください。

 長期間使用しない時は電源プラグを抜いてください。  
 感電や漏電火災の原因となります。


### 表示された電源電圧以外で使わない

 表示された電源電圧以外では使わないでください。また、コンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。  
 発熱による火災の原因となります。  
 ※船舶や自動車の直流電源では使用できません。


### 差し込みがゆるいコンセントは使わない

 コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。感電や発火の原因となります。

### 水で濡らしたり、水をかけたりしない

 本機は防水ではありません。  
 機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。

### 雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない

 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

# 安全上のご注意

**電源プラグをなめさせない**  
 禁止 お子さまが誤ってなめないように注意してください。感電やけがの原因となります。

**乳児の手の届くところで使わない**  
 禁止 感電原因となります。

## ⚠ 注意 人が傷害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される内容

**電源プラグを抜いてから移動する**  
 ！ 設置場所を大きく変更する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
 厳守 ※接続したまま移動すると火災や感電の原因となります。  
 ※また、コードに足を引っ掛け、けがの原因となります。

**本機の上に乗らない、ものを載せない**  
 ！ 転倒や落下してけがをする恐れがあります。  
 禁止 また重量により製品の外装が破損・変形し、内部部品が故障して火災の原因となります。

**放熱を妨げない**  
 ！ 内部に熱がこもり、火災の原因となります。  
 禁止

**音量に気をつける**  
 ！ 音が大きすぎると、近隣の迷惑になったり  
 厳守 聴力障害の原因となります。

**指定されたケーブルを使う**  
 ！ 誤ったケーブルや指定以外のケーブルを使用すると、発熱による火災や故障の原因  
 厳守 となります。

**使用上のご注意**  
 ！ ■レコード・CDを再生した状態で、本機を動かしたり持ち上げたりしないでください。  
 厳守 回転中のレコード・CDに傷がつく恐れがあります。  
 ■テレビの近くに設置すると、テレビの画面が乱れることがあります。これはテレビ放送の電波干渉によるもので、異常ではありません。  
 本機の電源をお切りください。

**金属物などの異物を入れない**  
 ！ 隙間などから金属物などの異物を入れないでください。機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。  
 禁止

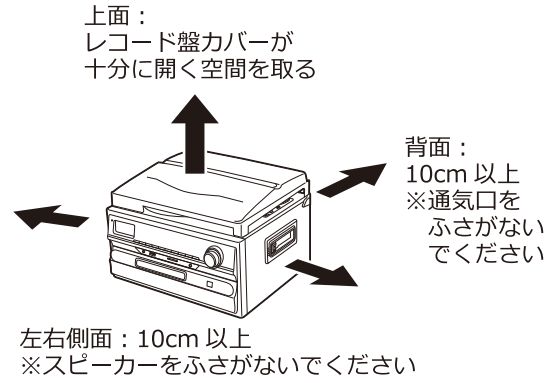
## 設置時・設置場所のご注意

！ 不安定な場所、高い場所、振動や衝撃がある場所に置かないでください。機器が落ちたり倒れたりしてけがをする恐れがあります。  
 禁止

！ 高温になる場所に置いたり、そのような場所では使わないでください。  
 禁止 変形・変色や火災の原因となります。

！ 油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多いところには置かないでください。  
 禁止 油・水分・ほこりがついた部分を電気が伝わり、火災や感電の原因となります。

！ 設置する環境によって下記の距離をあけて設置してください。あけないと、  
 厳守 内部に熱がこもり、火災の原因となります。



■他の機器と並べて設置する場合も、放熱を妨げないよう、上記の距離を目安に設置してください。

# 安全上のご注意

## 電池は正しく使う

！ ■リモコンの電池は、CR-2025をお使いください。  
 厳守 ■電池の【+】、【-】を間違えないように正しく入れてください。  
 ■長期間使用しない場合は、電池をリモコンから取り出しておいてください。  
 ■電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、水などの液体や火の中に投入しないでください。  
 ■電池は充電しないでください。  
 ■電池の【+】と【-】を電気を通す金属で接続しないでください。また、ヘアピンや針金などの金属製の物を近くに置かないでください。  
 ■小さなお子さまが電池を飲み込んだり舐めないようご注意ください。

※上記を守らないと、液漏れ・発熱・発火・破裂を起こし、火災の原因となります。  
 ※万一液漏れが起こった場合は、素手で触れないでください。  
 ・液が目に入ったり皮膚についた場合は、目をこすらずにきれいな水で洗い、すぐに医師にご相談ください。  
 ・液が衣服についた場合は、きれいな水で洗い流してください。

## USBメモリー/SD/SDHCについて

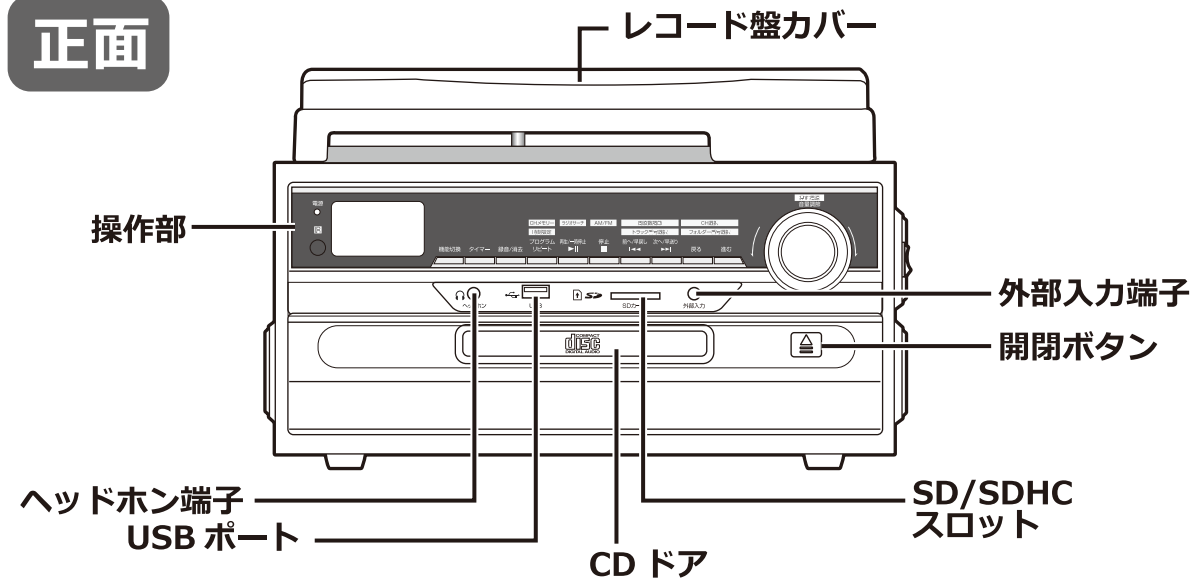
！ ■データのバックアップをお取りいただくことをおすすめいたします。  
 厳守 ■本製品の不具合等によりデータが破損、又は削除された場合の内容の補償に対し、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
 ■本製品のご使用により生じたその他の機器やデータの損害などに対し、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
 ■本製品のご使用、又は使用不能から生じる付随的な損害（事業の利益損失、中断等を含む）に対し、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■著作権について

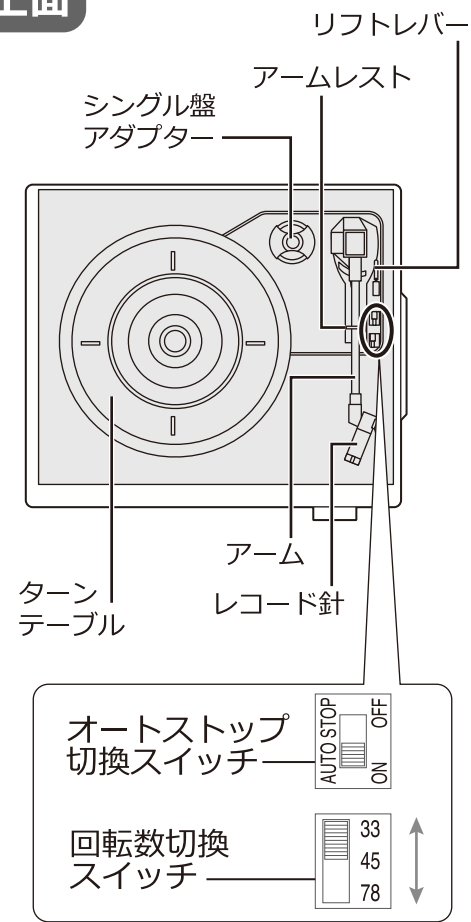
■ラジオ・レコード・CD・ミュージックテープ・カラオケテープのような音楽作品は音楽の歌詞や楽曲と同じように著作権法によって保護されています。  
 著作権法が適用される楽曲等が録音されたものを無断で販売、配布することはできません。個人でお楽しみください。

# 各部のなまえ

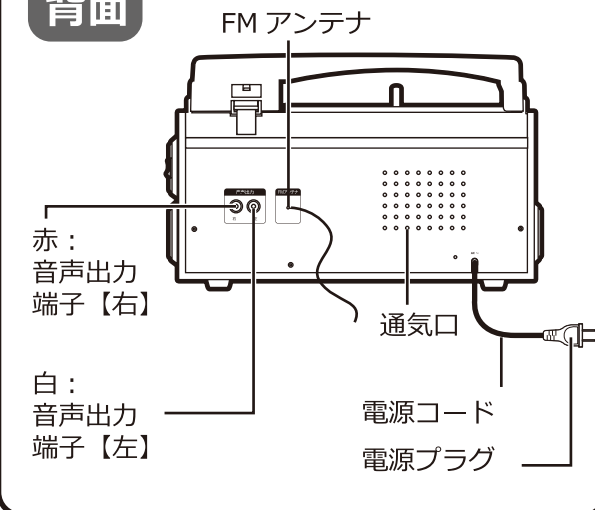
## 正面



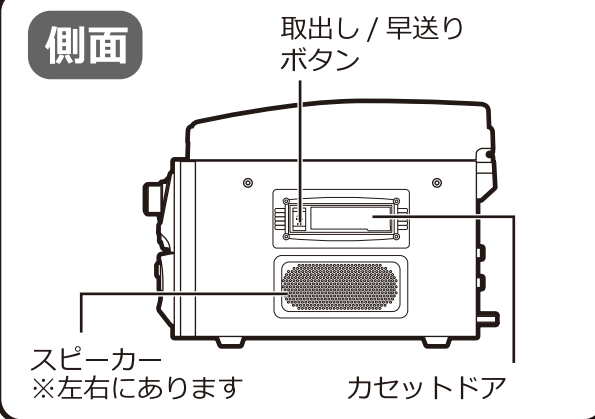
## 上面



## 背面

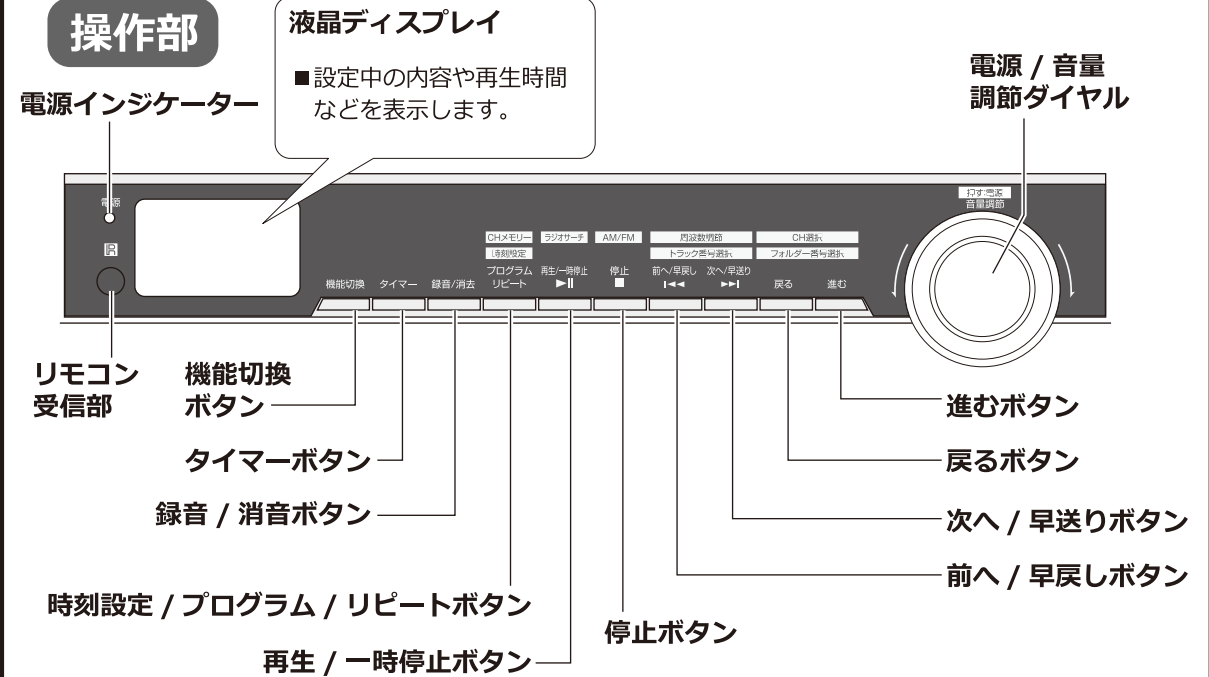


## 側面

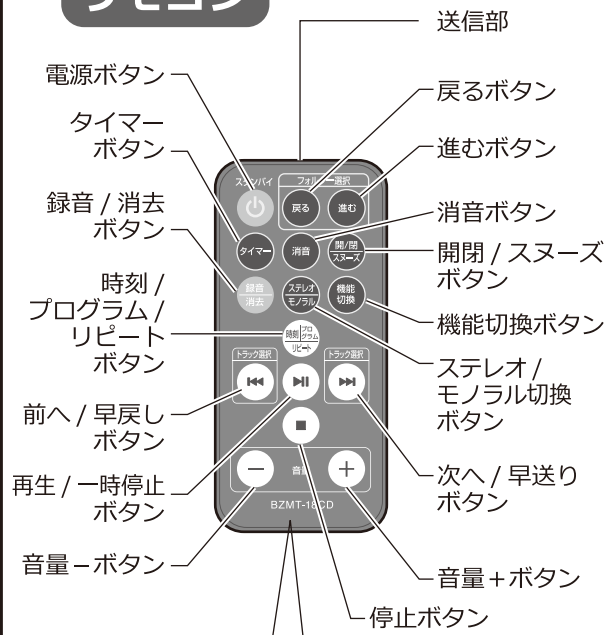


# 各部のなまえ

## 操作部



## リモコン

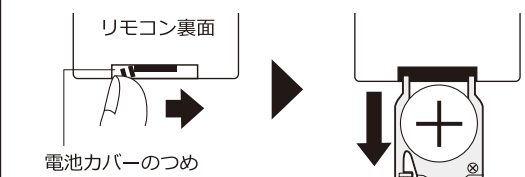


### はじめて使用する時は

電池カバーのフィルムを引き抜いてから使用してください。

### 電池交換のしかた

①電池カバーのつめを矢印の方向に押しながら電池カバーを引き出します。

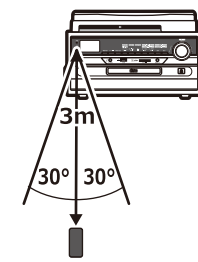


②電池 (CR-2025) を入れます。電池の【+】、【-】をご確認ください。

③電池カバーを戻します。

### リモコン受光範囲

本体正面から 3m、左右各 30°の範囲リモコンの受光範囲です。





## 運転前の準備：確認と電源

### 同梱品を確認する

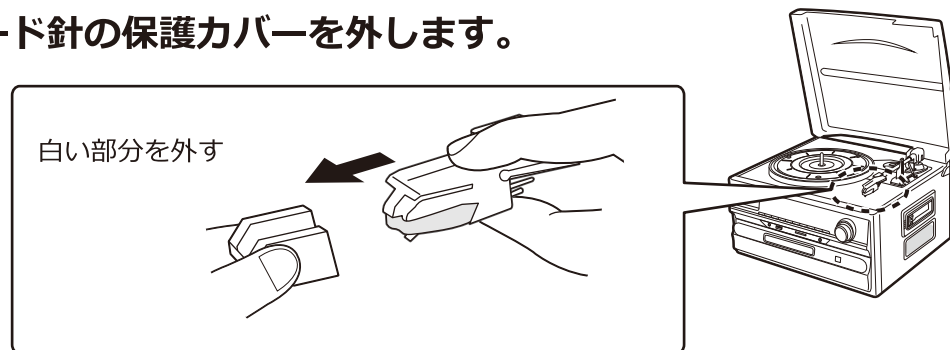


### レコード針のカバーを外す

① 本体を安定した場所に設置します。

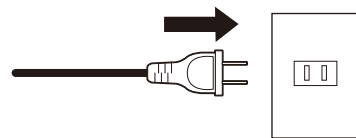
→設置場所についての詳細は、  
P3「設置時・設置場所のご注意」  
をご覧ください。

② レコード針の保護カバーを外します。

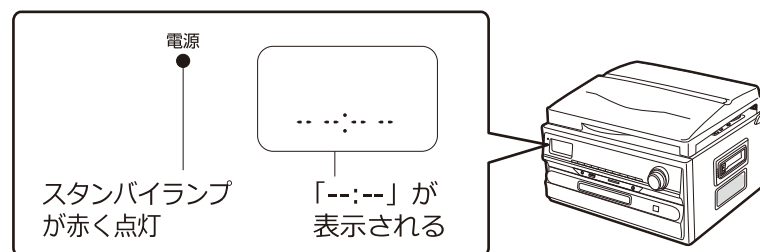


### 電源プラグをコンセントに差し込む

① 電源プラグをコンセントに  
差し込みます。



② 【電源インジケータ】  
が点灯し、  
【表示部】に「--:--」  
が表示されます。

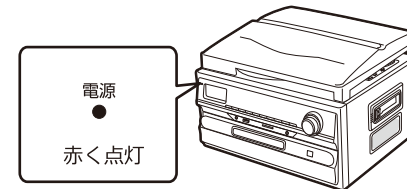


## 運転前の準備：時刻を合わせる

### 時刻を合わせる

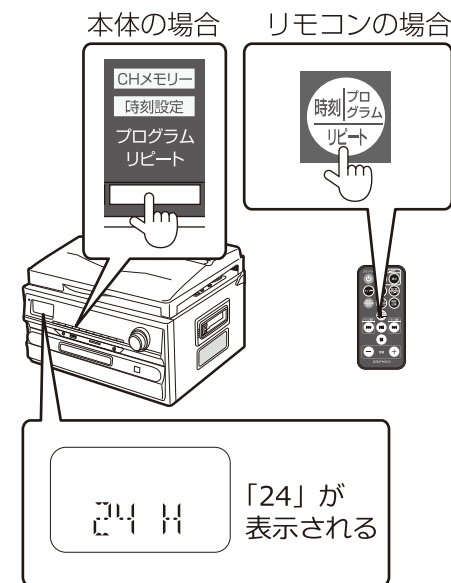
1. 「スタンバイ」の状態に  
なっているか確認する

■【電源インジケータ】が  
赤く点灯した状態が  
「スタンバイ」です。



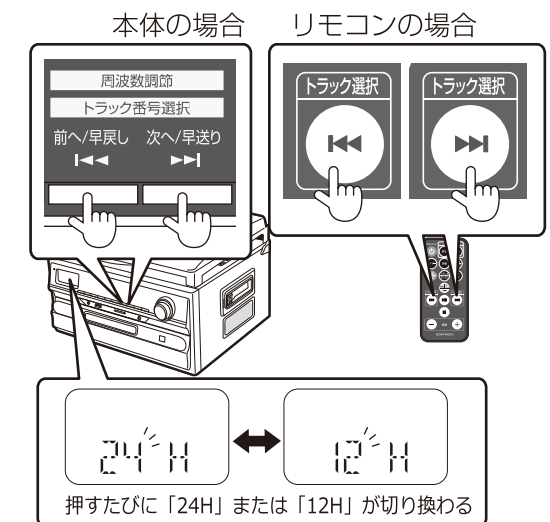
2. 【時刻設定 / プログラム /  
リピートボタン】を長押し  
する

■ 時刻設定モードに切り換わり  
ます。



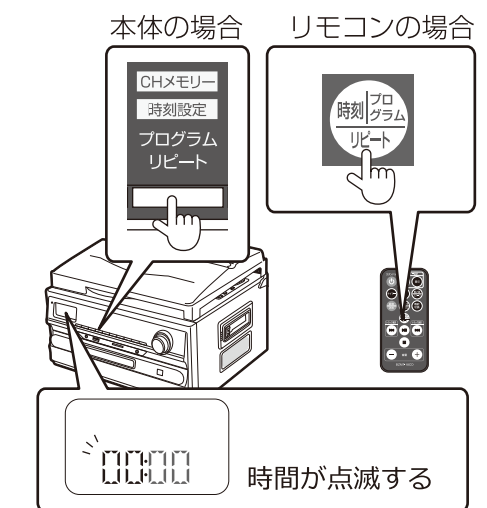
3. 【前へ / 早戻しボタン】または  
【次へ / 早送りボタン】を押す

■ 12 時間表示と 24 時間表示を  
お好みで切り換えます。



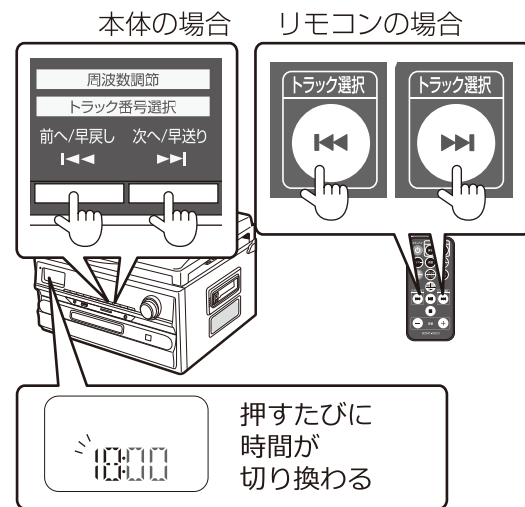
4. 【時刻設定 / プログラム /  
リピートボタン】で決定する

■ 時間の表示方法が決定され、  
時間が点滅します。



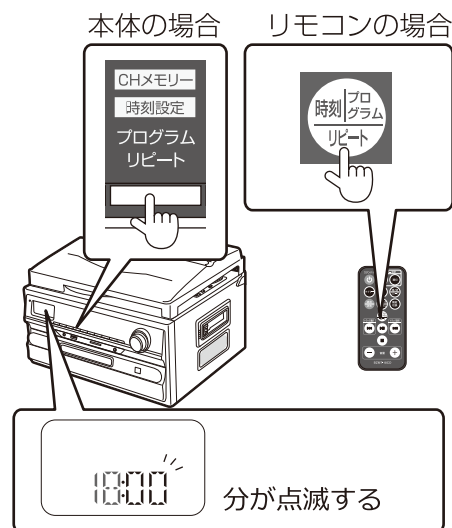
### 5. 【前へ / 早戻しボタン】または【次へ / 早送りボタン】を押す

■現在の時間に合わせます。



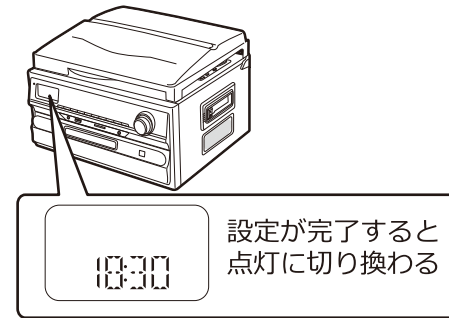
### 6. 【時刻設定 / プログラム / リpeatボタン】で決定する

■時間が決定され、分が点滅します。



### 7. 時間と同様に「5」～「6」の操作で、分を設定する

■分を合わせて決定すると点滅→点灯に変わり、設定が完了します。



■設定中に操作をせずに10秒間経過すると、設定画面が解除となります。その場合は、初めから操作をしてください。

**設定を修正するには**

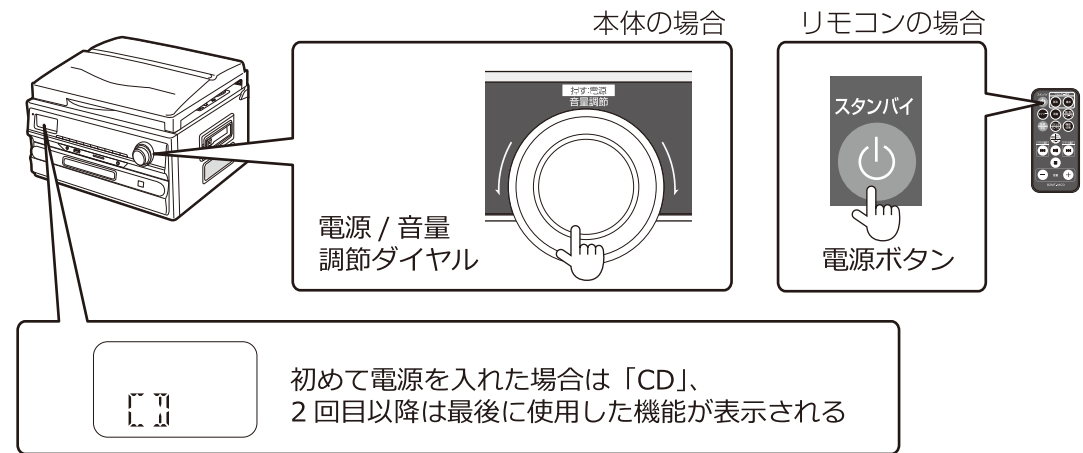
スタンバイの状態ですべてのボタンを長押しします。

本体の場合

リモコンの場合

## 電源を入れる

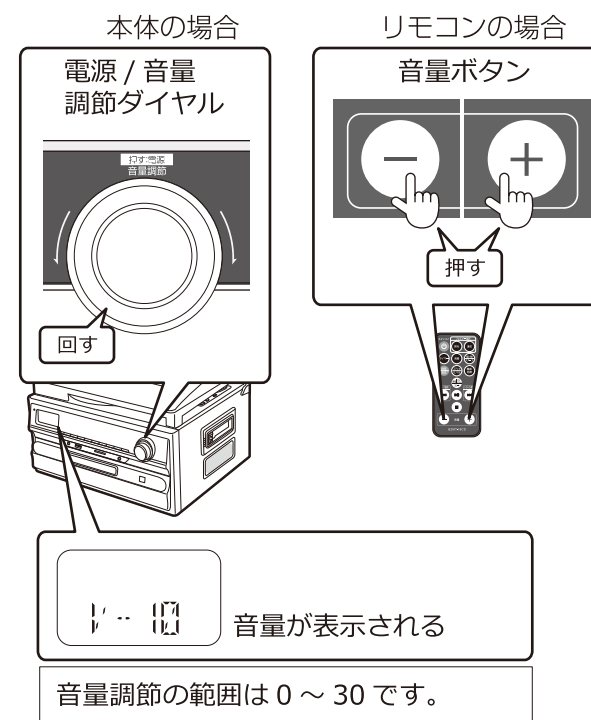
■次のダイヤル / ボタンを押して、電源を入れます。



※もう一度押すと、スタンバイの状態に戻ります。

## 音量を調節する

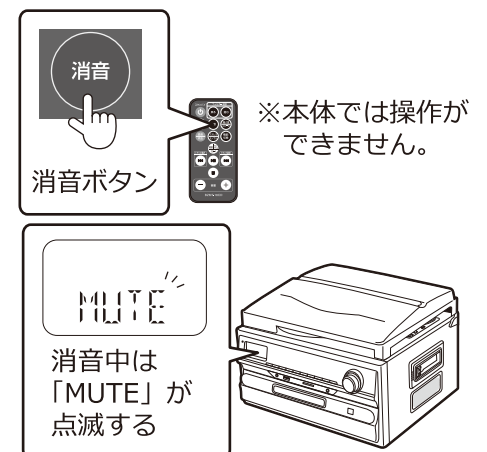
■電源が入った状態で、次の操作をします。



音量調節の範囲は0～30です。

### 消音にするときは

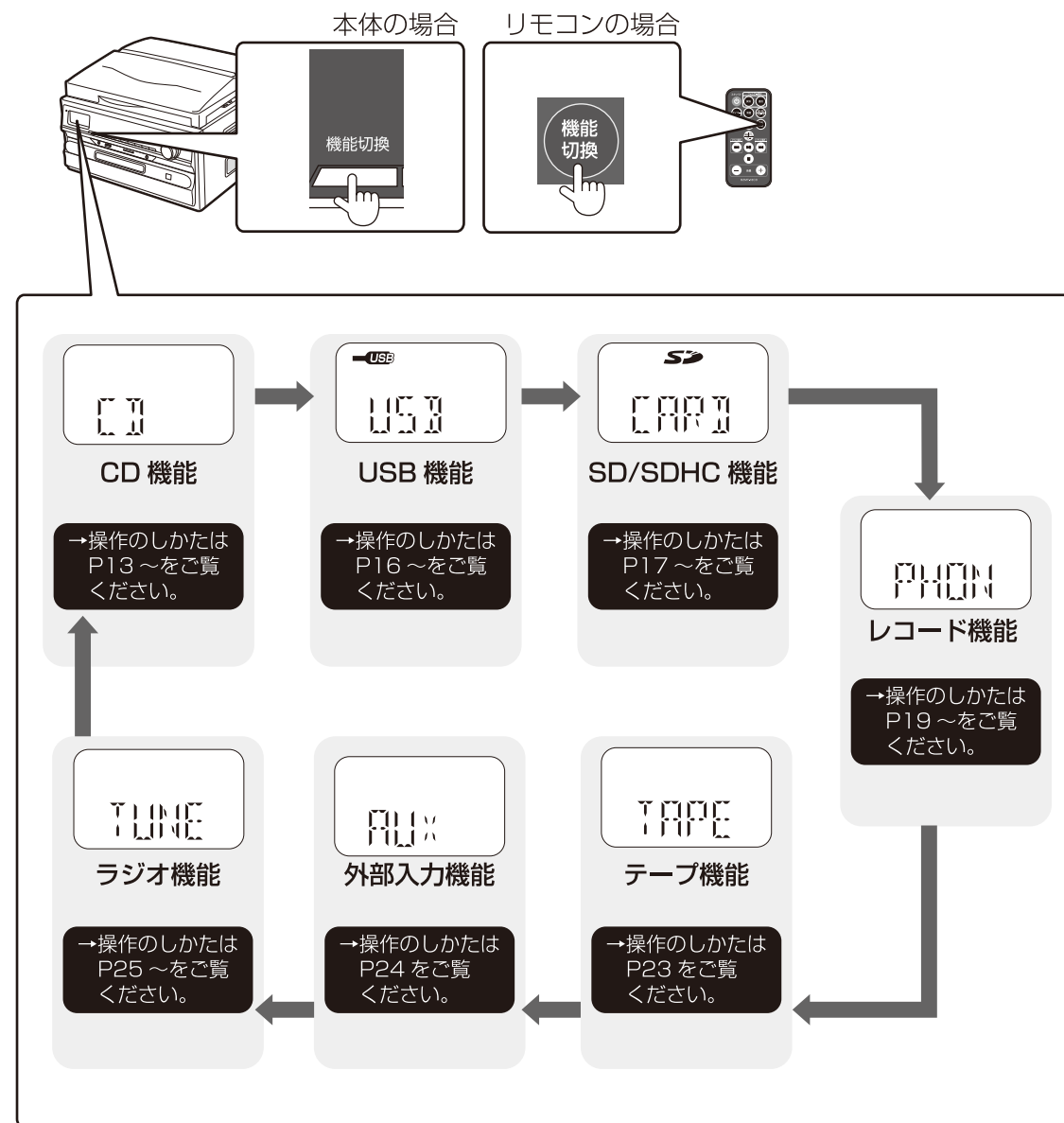
■リモコンの【消音ボタン】を押します。



※もう一度押すと、消音が解除されます。

機能を切り換える

■【機能切換ボタン】を押すと、次の順で機能が切り換わります。



CDについて

対応ディスク

CD、CD-R、CD-RW

対応フォーマット

CD-DA、MP3、WMA

※全ての再生を保証するものではありません。  
ディスクの種類や録音状態や記録方法などによっては、再生できない場合があります。

お取扱上のご注意

CDの取扱いは、次の点をお守りください。

- お手入れ時：シンナー、ベンジン、アルコール、レコードクリーナーは使用しない
- 鉛筆、ボールペンで書き込みをしない
- シールやラベル等の接着剤が残っているもの、のりがはみ出しているものを使用しない
- ディスク面の印刷に市販のラベルプリンターを使用したものは使用しない

守らないと故障の恐れがあります。

保管のしかた

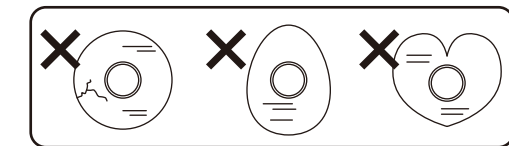
次のような場所には置かないでください。

- ほこりの多い場所
- 高温多湿になる場所
- ヒーターなどの熱が直接当たる場所

CDの形状について

次のような形状のCDは使用しないでください。

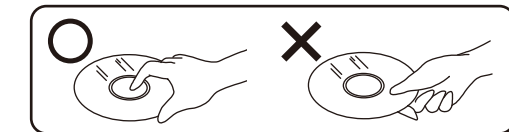
- 変形しているもの
- ヒビが入っているもの
- 特殊な形状のもの



回転が不安定になったり、内部で割れて部品を損傷させる恐れがあります。

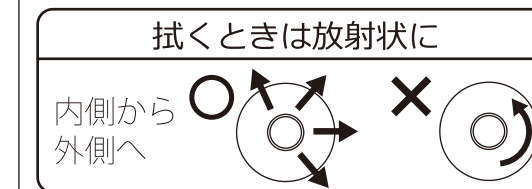
持ち方

CDを持つ時はデータ面（光る面）に触れないように持ってください。



汚れた時は

水を含ませたやわらかい布等で拭き、その後乾いた布で拭いてください。



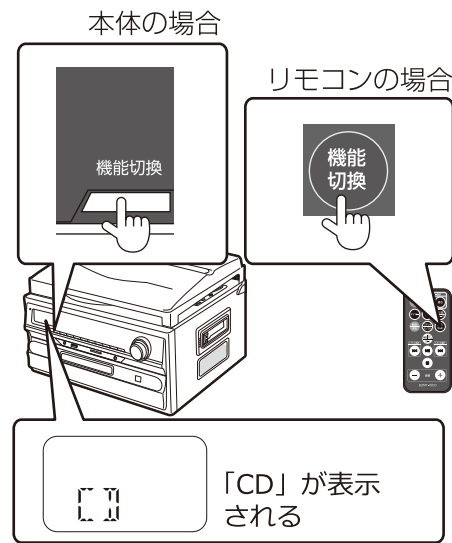
結露した時は

乾燥したやわらかい布等で水分を拭き取り、しばらく乾燥させてから、お使いください。

CD をセットする

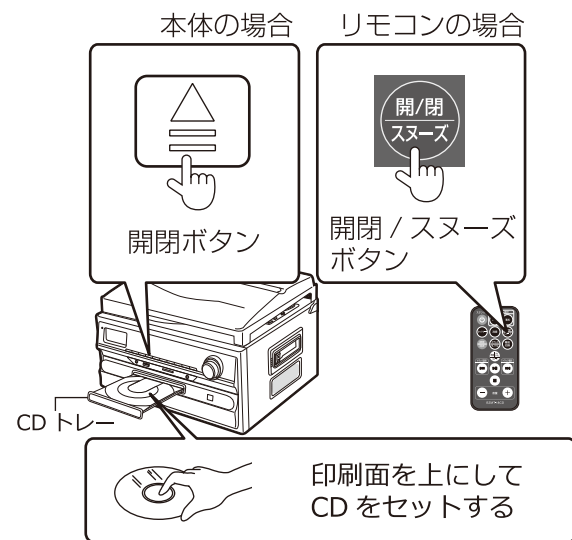
1. 【機能切換ボタン】で CD 機能に切り換える

■ CD 機能に切り換えると「CD」が表示されます。



2. CD をセットする

■ 次のボタンを押して CD トレーを開け、CD をセットする



3. CD トレーを戻す

■ 次のボタンを押して、CD トレーを戻す

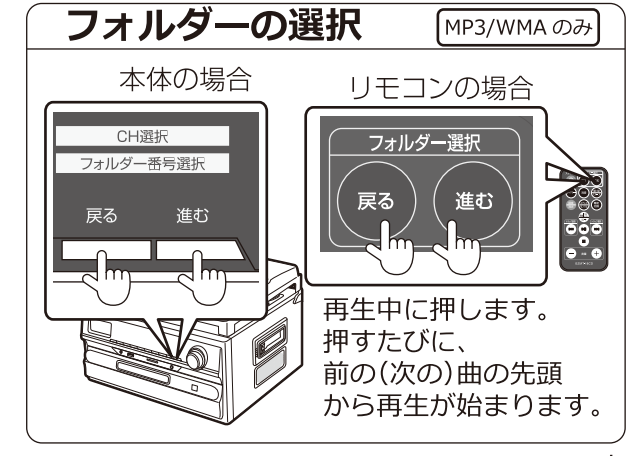
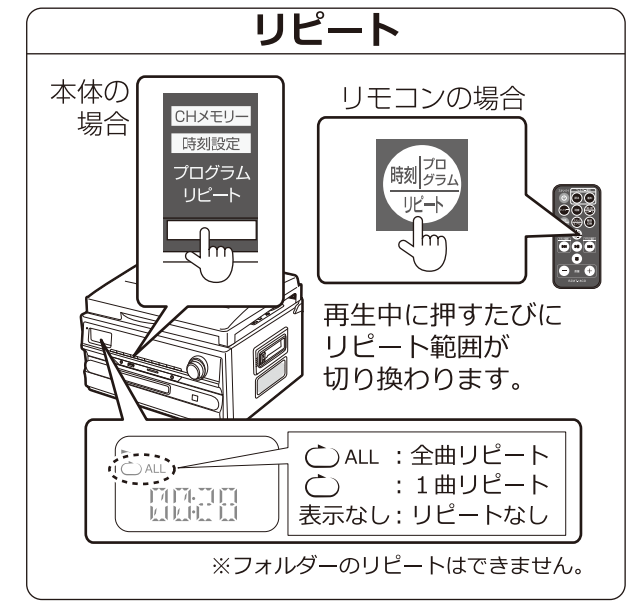
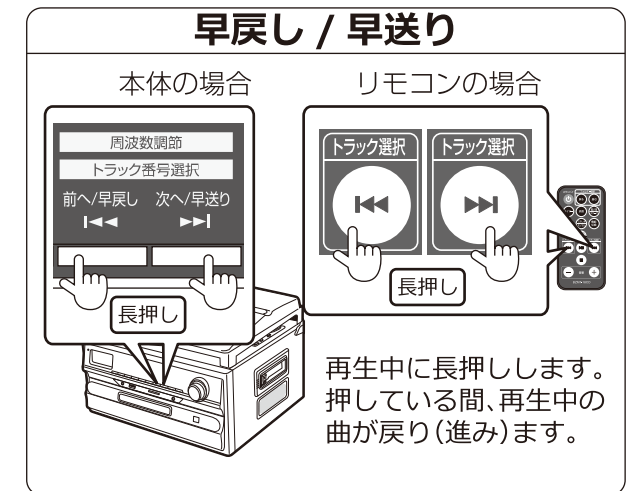
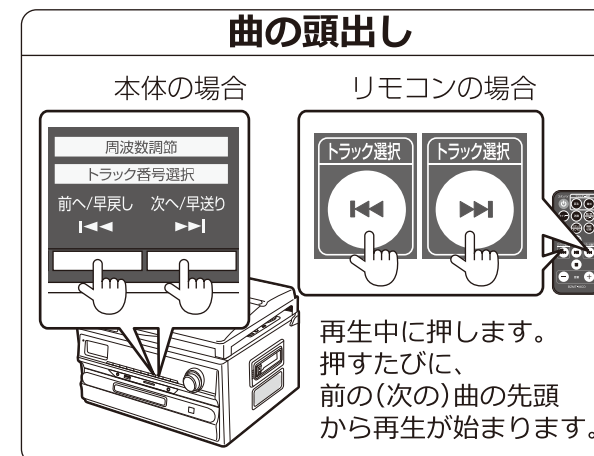
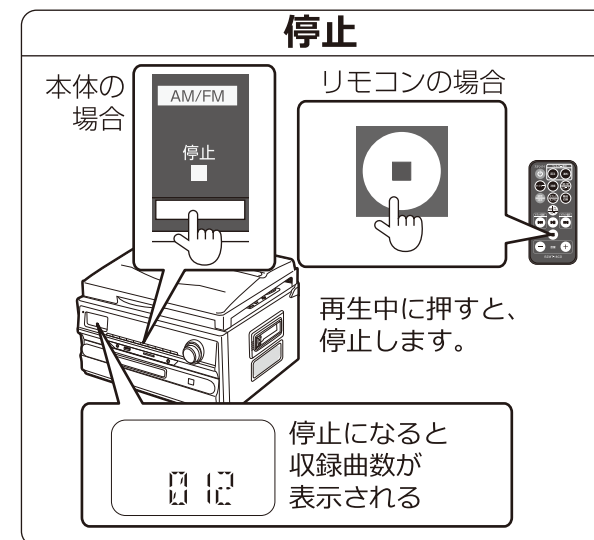


※読み込みが完了すると、自動で再生が始まります。

4. 音量を調節する

■ P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

操作のしかた：基本の操作

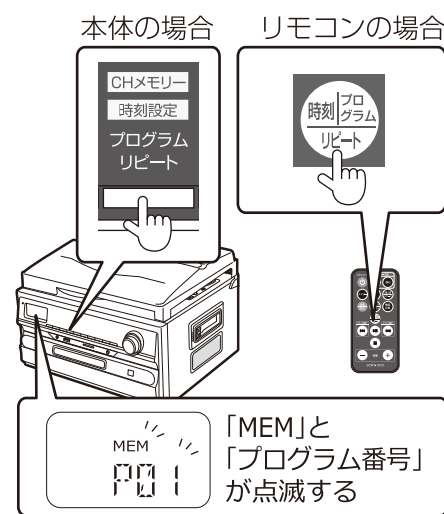




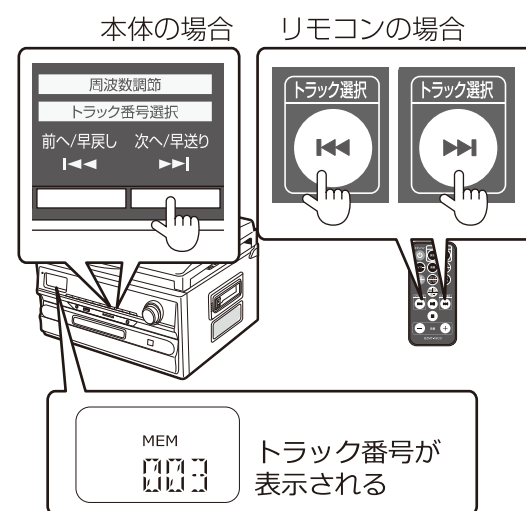
### 操作のしかた：プログラム再生

1. 停止の状態にする

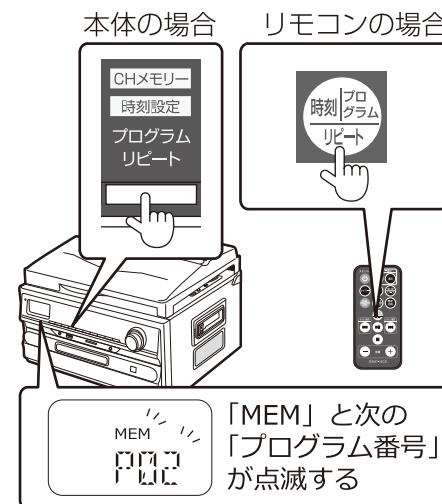
2. 【時刻設定 / リpeat / プログラムボタン】を押す



3. 【前へ / 早戻しボタン】または【次へ / 早送りボタン】で曲を選択する



4. 【時刻設定 / リpeat / プログラムボタン】で決定する

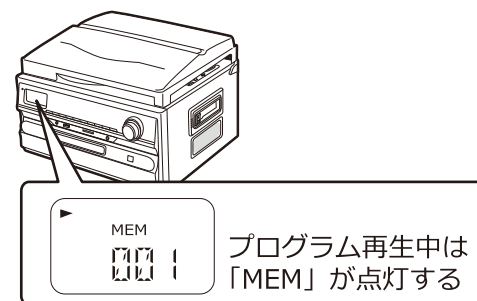


この時点で、前のプログラム番号までの登録が完了しています。

5. 「3」～「4」をくり返し、再生したい曲をプログラムする

■ 99 曲までプログラムできます。  
※99 曲を超えると「FULL」が表示されます。

6. 【再生 / 一時停止ボタン】を押して再生を開始する



■ 停止中に【停止ボタン】を押すと「MEM」が消え、プログラムが解除されます。

### USB メモリーについて

対応メディア  
USB メモリー 2.0 32GB まで

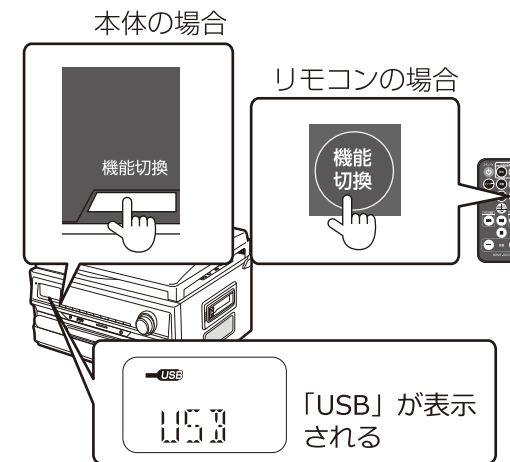
対応フォーマット  
MP3、WMA

※全ての再生を保証するものではありません。  
種類や録音状態や記録方法などによっては、再生できない場合があります。

メディアが認識されない場合  
■ USB メモリーを「FAT32」でフォーマットしてください。

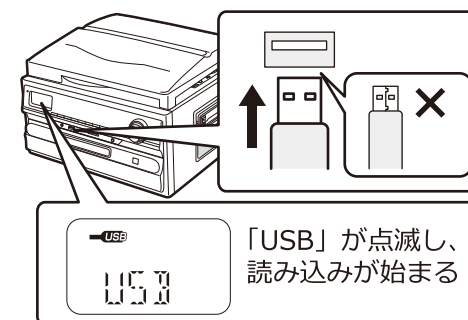
### USB メモリーをセットする

1. 【機能切換ボタン】で USB 機能に切り換える



2. USB メモリーをセットする

■ 挿入向きにご注意ください。



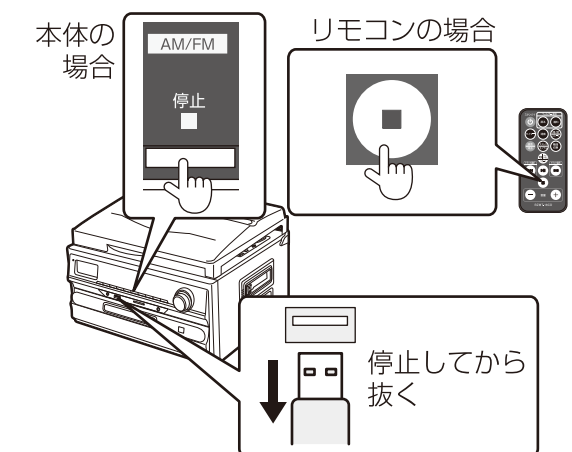
※読み込みが完了すると、自動で再生が始まります。

3. 音量を調節する

■ P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

4. 再生が終わったら

■ 【停止ボタン】を押して、停止してから USB メモリーを抜いてください。



### 操作のしかた

■ CD と共通です。  
P14 ~ 15 をご覧ください。

SD/SDHC について

**対応メディア**  
SD/SDHC クラス4 32GB まで

**対応フォーマット**  
MP3、WMA

※全ての再生を保証するものではありません。  
種類や録音状態や記録方法などによっては、再生できない場合があります。

**メディアが認識されない場合**

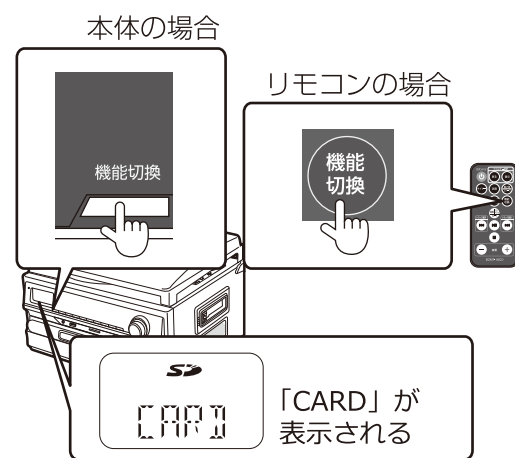
■SD/SDHC を「FAT32」でフォーマットしてください。

**アダプターを使用する場合**

■mini/micro タイプでアダプターを使用する場合は、アダプターごと抜き差ししてください。

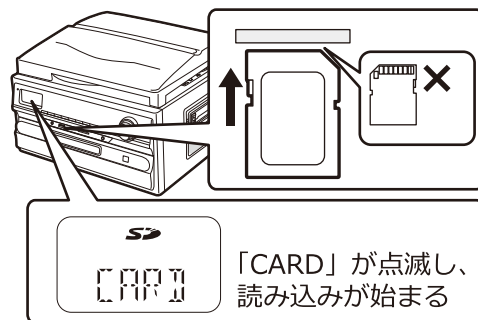
SD/SDHC をセットする

1. 【機能切換ボタン】で SD/SDHC 機能に切り換える



2. SD/SDHC をセットする

■挿入向きにご注意ください。



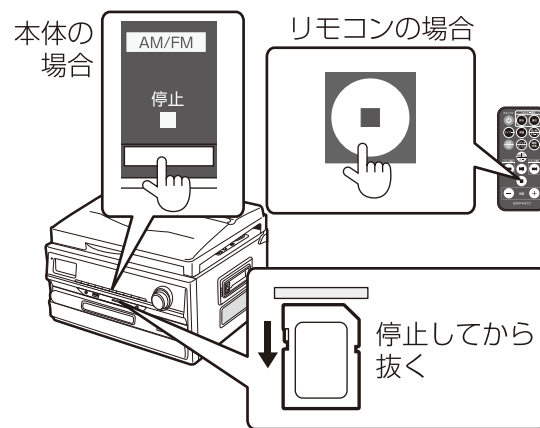
※読み込みが完了すると、自動で再生が始まります。

3. 音量を調節する

■P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

4. 再生が終わったら

■【停止ボタン】を押して、停止してから SD/SDHC を抜いてください。

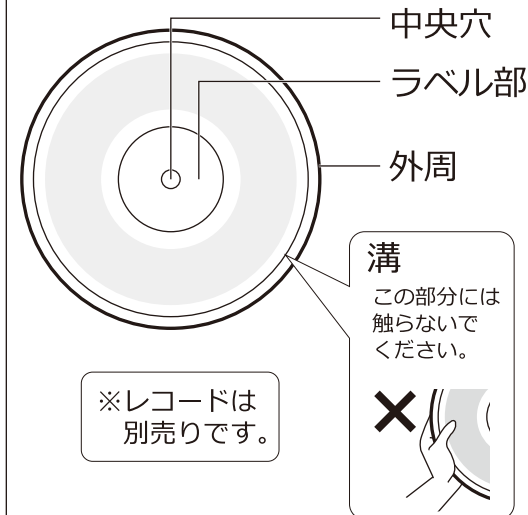


操作のしかた

■CD と共通です。  
P14 ~ 15 をご覧ください。

レコードについて

レコードの各部名称



持ち方

ラベル部と外周を支えて持つか、両手で外周を挟んで持つようにしてください。



汚れた時は

市販のレコードクリーナー等で定期的に指紋やほこりを取り除いてください。



汚れたまま使用すると雑音や音飛びや傷の原因となります。

お取扱上のご注意

次の点に気をつけてお取扱ください。

- 重いものを載せたり、積み重ねない
- 斜めになった状態で放置しない
- レコードの溝に爪や硬いものを入れない

ソリ・劣化・傷・音飛びの原因となります。

保管のしかた

次のような場所には置かないでください。

- ほこりの多い場所
- 高温多湿になる場所
- 直射日光が当たる場所
- ヒーターなどの熱が直接当たる場所

ソリ・劣化・傷・音飛びの原因となります。

- ・シンナー・ベンジン・アルコールは使用しないでください。劣化や破損の恐れがあります。
- ・市販のレコードクリーナーの使用方法は、その取扱説明書に従ってください。

レコード針の交換

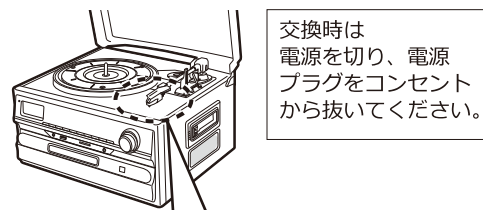
交換時期の目安

約 500 時間が交換の目安です。

- ・交換時期は、環境や条件により異なります。
- ・針がすり減ったまま再生を続けると、音が悪くなりレコードに傷をつける原因となります。
- ・付属の交換用レコード針がなくなった際は、お買上げの販売店またはビズライフお客様サポートにお問い合わせください。

レコード針 交換カートリッジ (別売)  
品番: BC-MT18CD ¥500 (税抜)

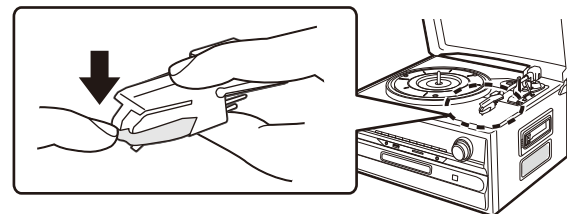
交換時のポイント



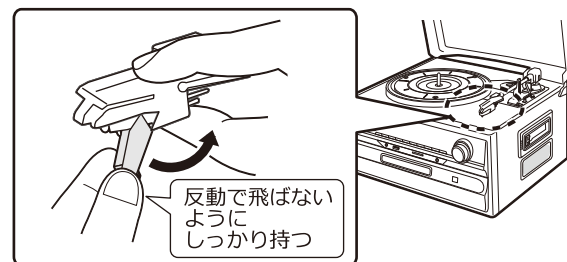
- 尖った部品や針でけがをしないようにお気をつけください。
- 小さな部品を紛失しないようにお気をつけください。

1. 針を取り外す

- ① 赤い部分を矢印の向きに押し下げます。

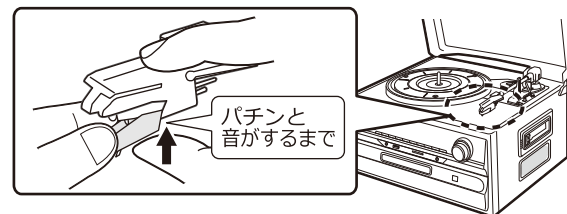


- ② 赤い部分を矢印の向きに動かして外します。

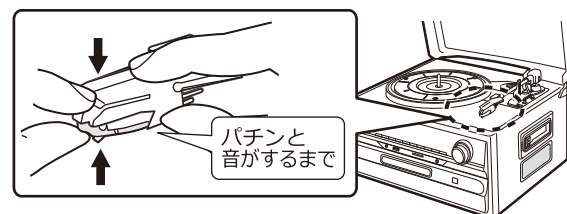


2. 針を取り付ける

- ① 図のように持ち、赤い部分を押し上げます。



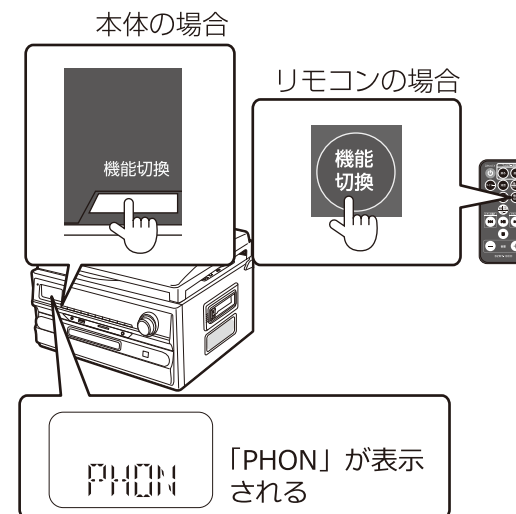
- ② 矢印の向きに押し合わせて合います。



レコードをセットする

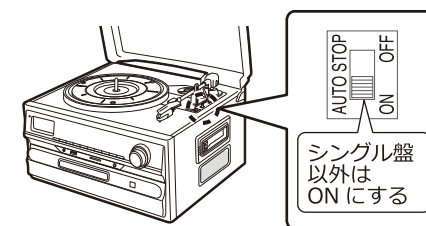
1. 【機能切換ボタン】でレコード機能に切り換える

- レコード機能に切り換えると「PHON」が表示されます。



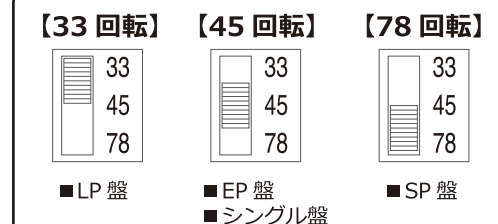
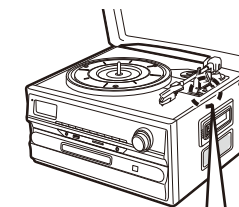
2. 【オートストップ切換スイッチ】を「ON」にする

- シングル盤を再生する場合は「OFF」にしてください。



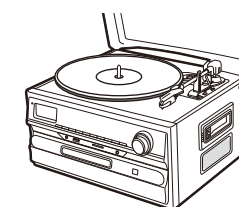
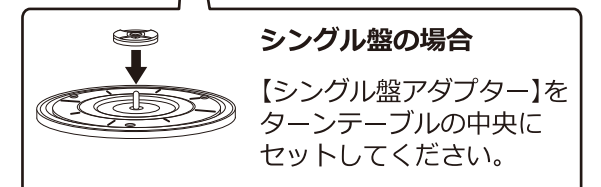
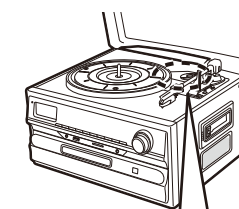
→【オートストップ切換スイッチ】についての詳細はP22をご覧ください。

3. 回転数を設定する



※レコード盤に回転数の表示がある場合は、その指示に従ってください。

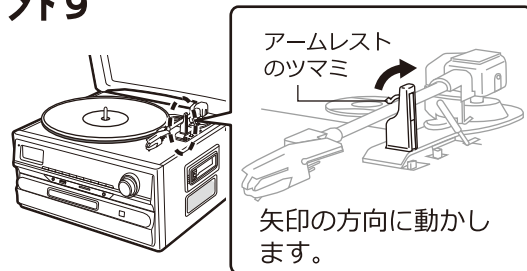
4. レコードをセットする



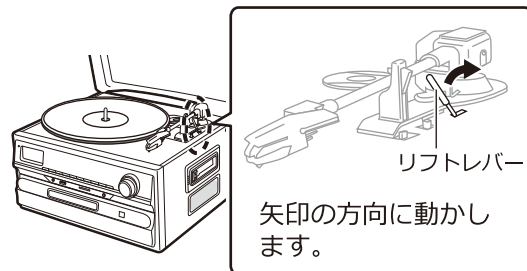


レコードを再生する

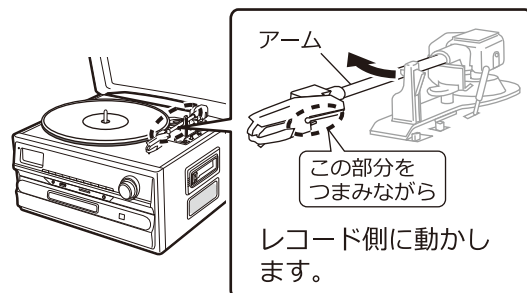
1. アームレストのつまみを外す



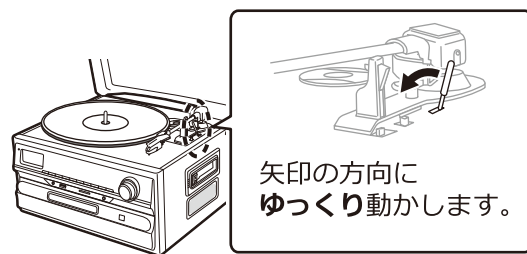
2. リフトレバーを動かす



3. アームを動かす



4. リフトレバーを動かす



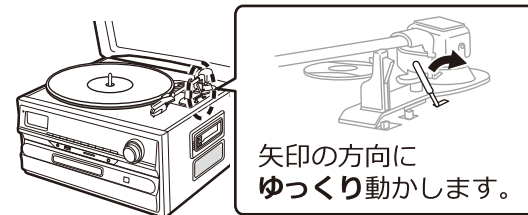
※アームの位置が下がり、再生が始まります。

5. 音量を調節する

■P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

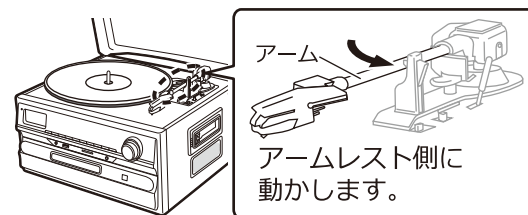
レコードを停止する

1. リフトレバーを動かす

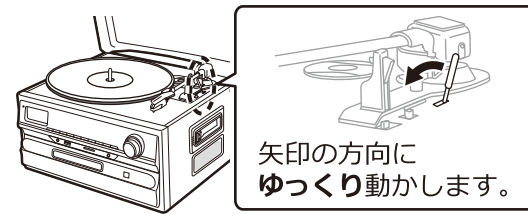


※アームの位置が上がリ、再生が止まります。

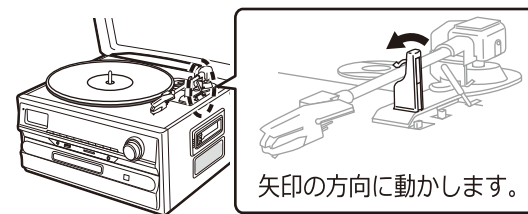
2. アームを動かす



3. リフトレバーを動かす



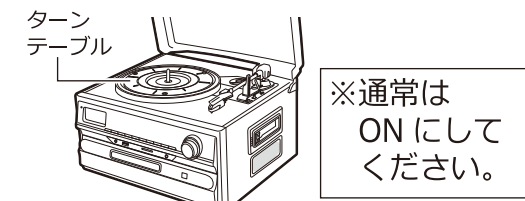
4. アームレストのつまみを戻す



オートストップ機能について

オートストップ機能とは

ターンテーブルの自動停止についての設定をする機能です。



【ON】の場合

アームをアームレストに戻すと、**自動でターンテーブルの回転が止まります。**

※アームをレコード側に近づけると回転が始まります。

【OFF】の場合

アームの位置に関係なく、**ターンテーブルが回転し続けます。**

OFFにする場合

下記のレコードを再生する場合は、OFFに設定してください。

- シングル盤
- SP盤で長い曲

※ONにすると、再生中に止まることがあります。

カセットテープについて

再生できるカセットテープ

対応テープの種類はノーマルです。その他の種類のテープ(クロム・メタル)を再生されても音質はノーマルテープのものとは変わりません。また、ノーマルテープであっても使用するテープや環境により音質が左右されます。

長時間用のカセットテープ

90分を超えるカセットテープは短時間のものに比べると、テープが薄く伸びやすくなっています。小刻みな再生・停止や、早戻し・早送りを繰り返すとテープが回転部分に巻き込まれることがありますのでお気をつけください。

テープがたるんでいる時は

テープにたるみがあると、再生時に機器内部に巻き込まれてテープが切れたり機器の故障につながる恐れがあります。鉛筆などで巻き取ってから再生してください。

雑音が出る場合は

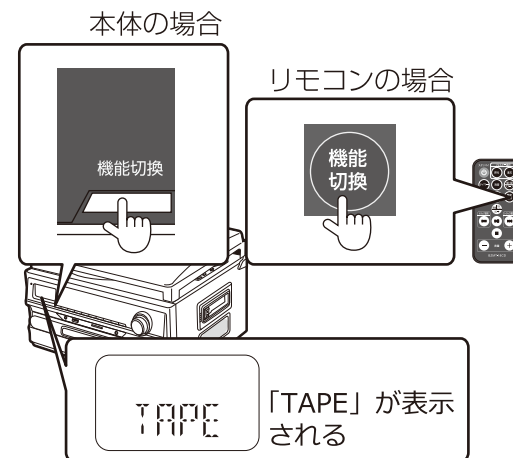
テープ再生時に雑音が出たり音質が悪くなった場合は、市販のクリーニングテープでヘッドをお手入れしてください。※使用方法は、その取扱説明書に従ってください。※製品の性質上、綿棒等でお手入れすることはできません。カセットテープになっているタイプのクリーナーでお手入れをしてください。



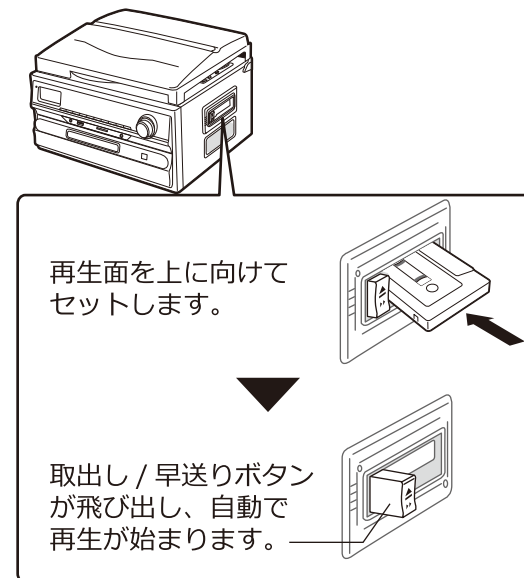
### カセットテープをセットする

#### 1. 【機能切換ボタン】でテープ機能に切り換える

- テープ機能に切り換わると「TAPE」が表示されます。



#### 2. カセットテープをセットする

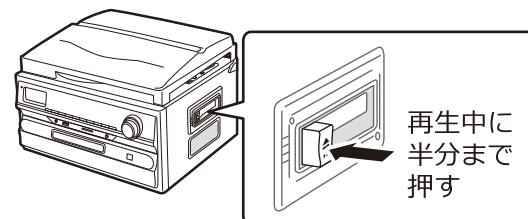


#### 3. 音量を調節する

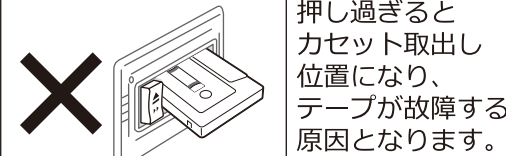
- P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

### 操作のしかた

#### 早送り

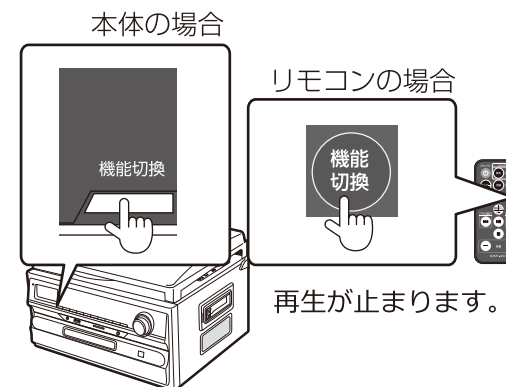


#### 押しすぎ注意



#### 停止 / カセット取出し

##### ①テープ機能以外に切り換えます。



##### ②カセットを取り出します。



- 本機にテープの一時停止、巻戻し、テープに録音する機能はありません。
- 本機にテープの停止ボタンはありません。テープ以外の機能に切り換えて停止をしてください。

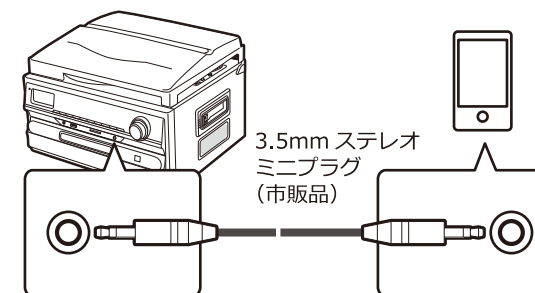
### 外部入力で聞く

接続時は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### 1. 接続する

外部機器側がイヤホン端子の場合

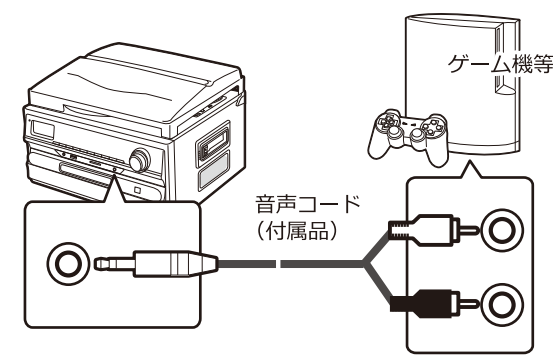
- 【外部入力端子】と外部機器のイヤホン端子を接続します。



- 外部機器のイヤホン端子が 3.5mm ステレオミニプラグであれば、スマートフォン・MP3 プレーヤー・CD プレーヤーなどと接続できます。

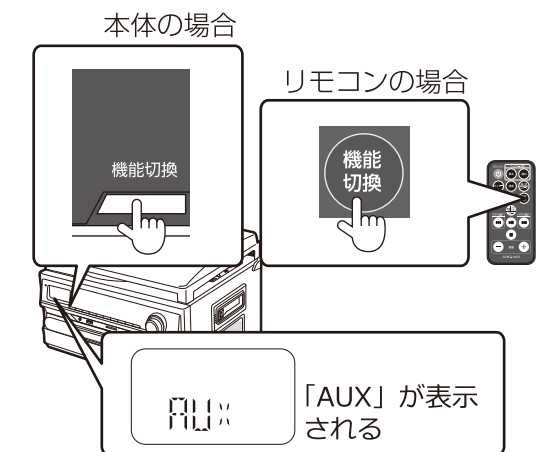
外部機器側が音声出力端子の場合

- 【外部入力端子】と外部機器の音声出力端子を接続します。



#### 2. 【機能切換ボタン】で外部入力機能に切り換える

- 外部入力機能に切り換わると「AUX」が表示されます。



#### 3. 外部機器で再生を開始する

- 外部機器の音楽を再生すると本機から聞こえます。

※外部機器の操作方法は、外部機器の取扱説明書に従ってください。

#### 4. 音量を調節する

- P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

##### 音量が小さい場合

外部機器の音量をご確認ください。

外部機器の音量が小さいと聞こえないことがあります。



### ラジオを聞く

#### 1. 【機能切換ボタン】でラジオ機能に切り換える

■ラジオ機能に切り換わると「TUNE」が表示されます。

本体の場合    リモコンの場合



#### 2. 放送局を切り換える

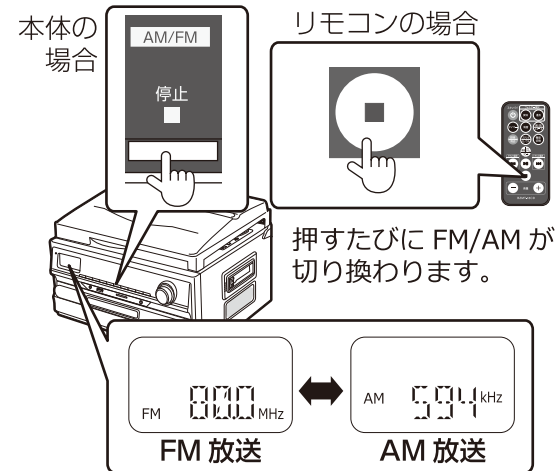
- FM/AM の切り換え →P25
- モノラル / ステレオの切り換え →P25
- 放送局のサーチ / メモリー(自動) →P25
- 放送局のサーチ(手動) →P26
- 周波数の調節(手動) →P26
- 放送局の切り換え →P26
- 放送局のメモリー(手動) →P26

#### 3. 音量を調節する

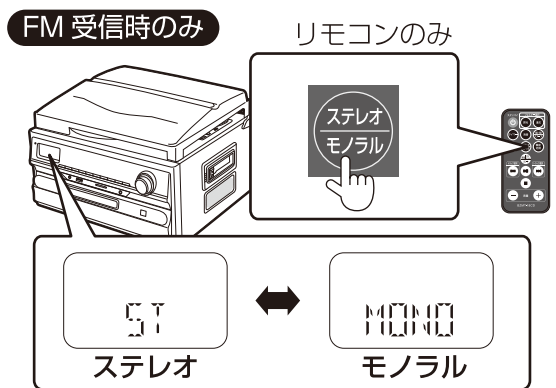
■P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

### 操作のしかた

#### FM/AM の切り換え



#### モノラル / ステレオの切り換え

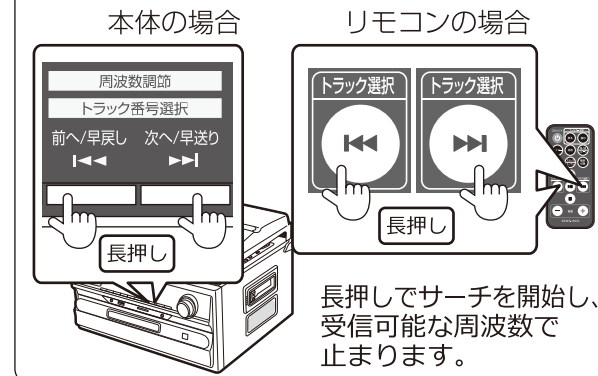


#### 放送局のサーチ / メモリー(自動)



### 操作のしかた

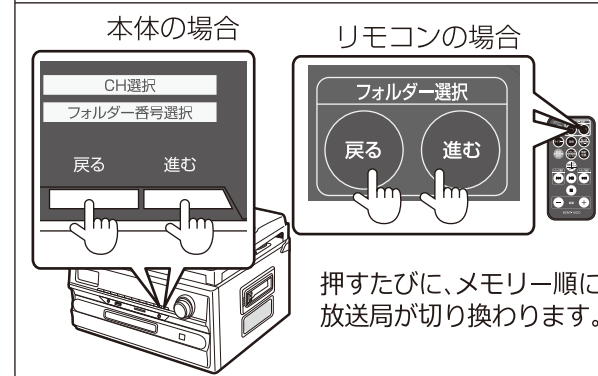
#### 放送局のサーチ(手動)



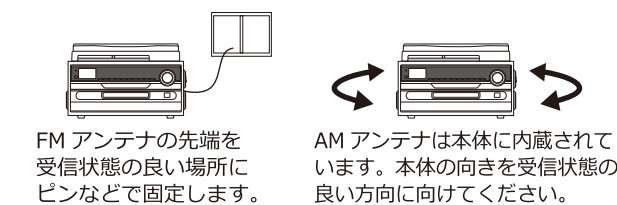
#### 周波数の調節(手動)



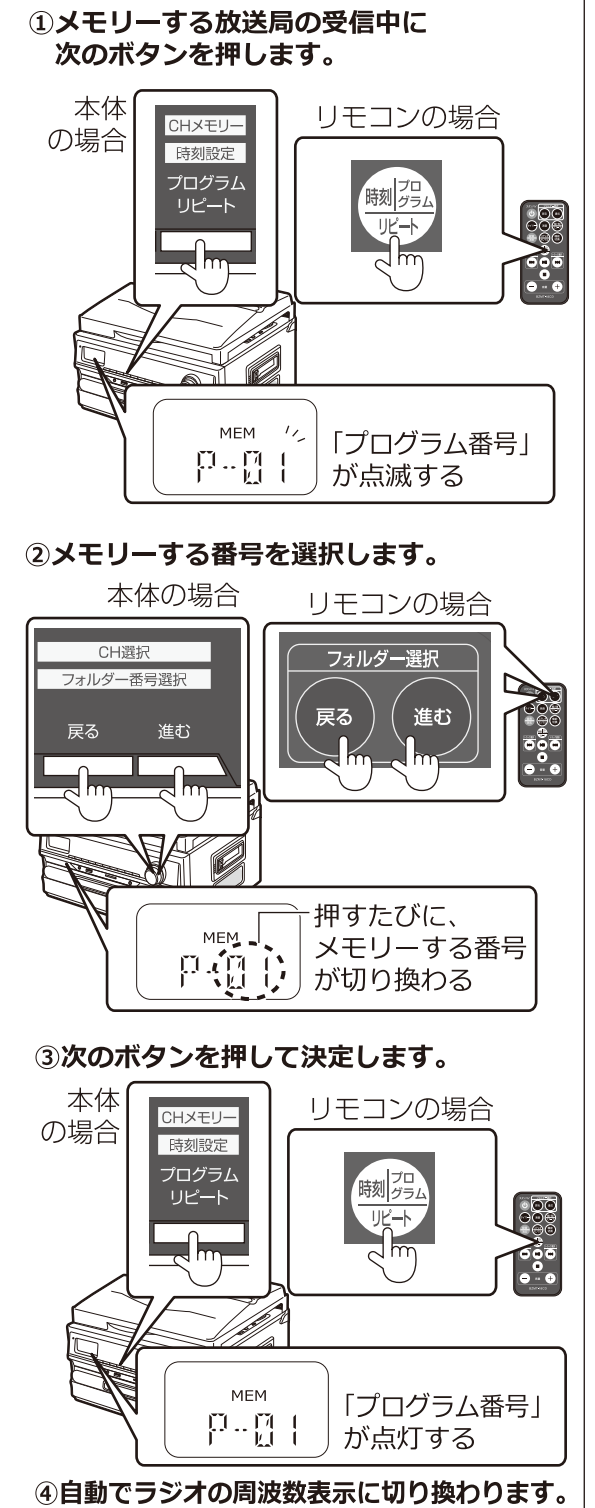
#### 放送局の切り換え



#### ラジオが聞こえにくい時は



#### 放送局のメモリー(手動)

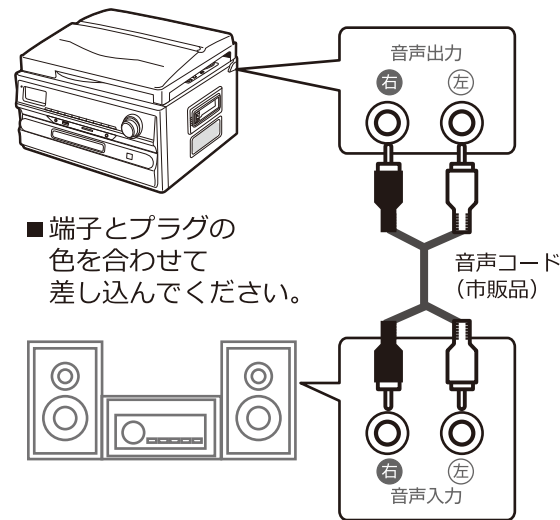


外部出力で聞く

接続時は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 接続する

- 【音声出力端子 右 / 左】と外部機器の音声入力端子を接続します。



2. 電源を入れ、お好みの機能にする

- 外部機器の電源も入れてください。

3. 音量を調節する

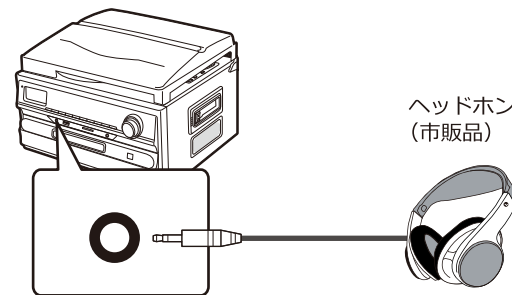
- P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

ヘッドホンで聞く

接続時は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 接続する

- 【ヘッドホン端子】に3.5mm ステレオミニプラグを接続します。



2. 電源を入れ、お好みの機能にする

- 外部機器の電源も入れてください。

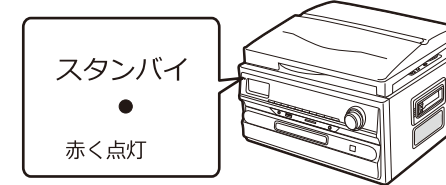
3. 音量を調節する

- P10「音量を調節する」に従って操作をしてください。

入タイマーを設定する

**ポイント** 時刻設定は完了していますか？  
完了していない場合は、P8に従って時刻を設定してください。

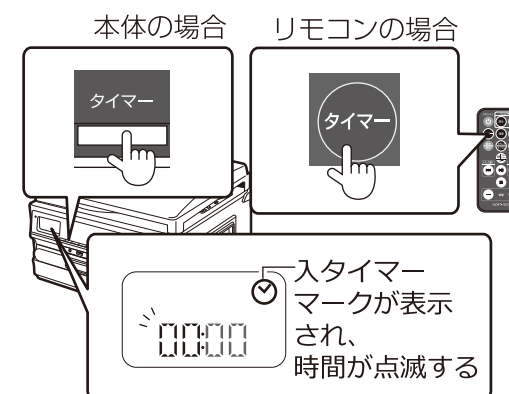
1. 「スタンバイ」の状態になっているか確認する



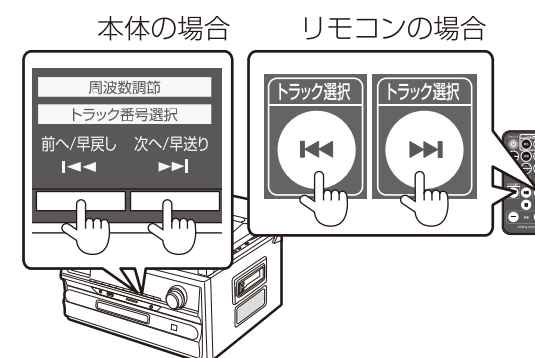
2. ON する時刻を決める

①【タイマーボタン】を押します。

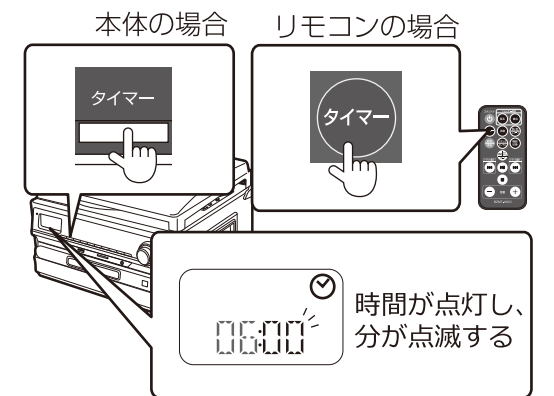
※「ON」という表示の後、「時間」が点滅します。



②【前へ / 早戻しボタン】または【次へ / 早送りボタン】で希望の時間に合わせます。



③【タイマーボタン】で決定します。

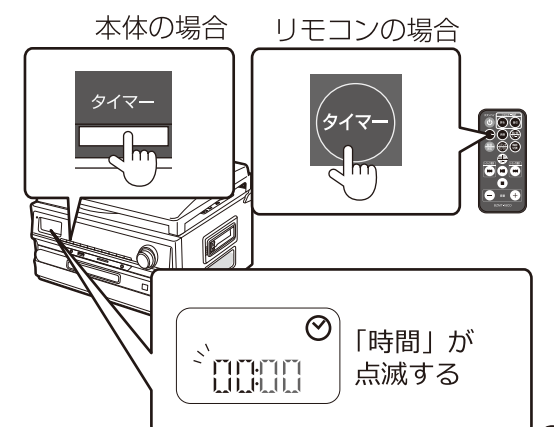


④【前へ / 早戻しボタン】または【次へ / 早送りボタン】で希望の分に合わせます。



⑤【タイマーボタン】で決定します。

※「OFF」という表示の後、「時間」が点滅します。



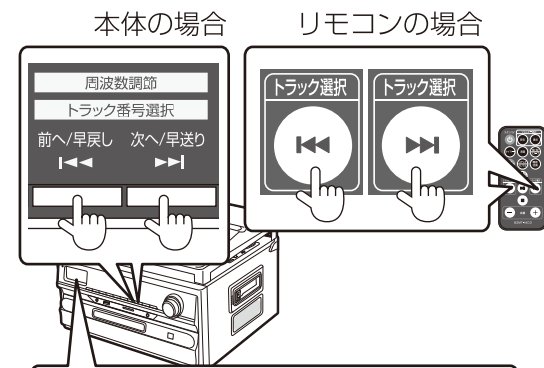


入タイマーを設定する

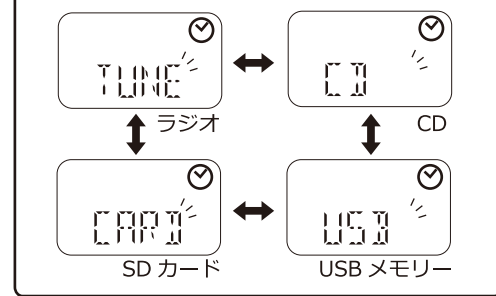
3. OFF する時刻を決める  
 ■ P28 の「2」と同様に操作して OFF する時刻を決めます。

4. 機能を決める

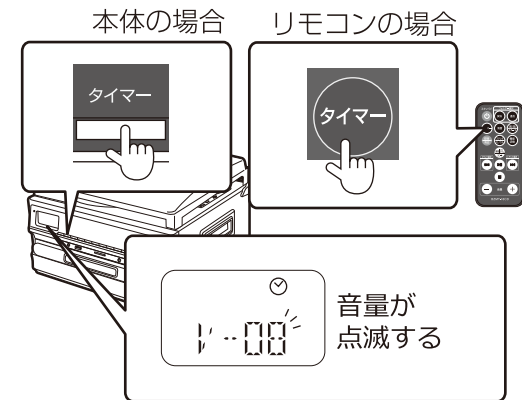
①【前へ / 早戻しボタン】または【次へ / 早送りボタン】で希望の機能に合わせます。



※押すたびに表示が切り換わります。



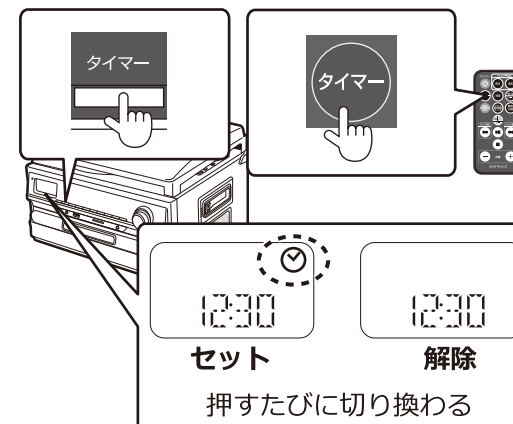
②【タイマーボタン】で決定します。



入タイマーを使う

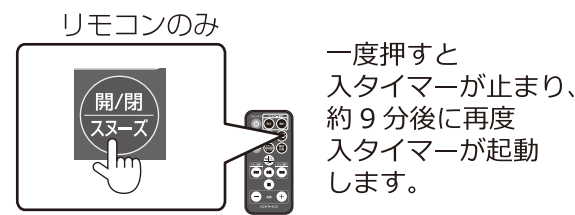
**ポイント** 入タイマー設定は完了していますか？  
 完了していない場合は、P28 に従って入タイマーを設定してください。

入タイマーのセット / 解除



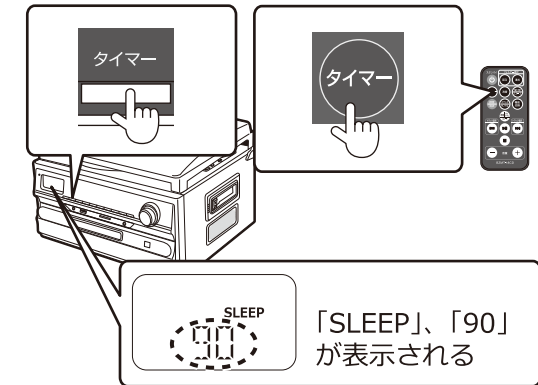
スヌーズ

入タイマー起動時のみ



切タイマーを設定する

■ 運転中に【タイマーボタン】を押す

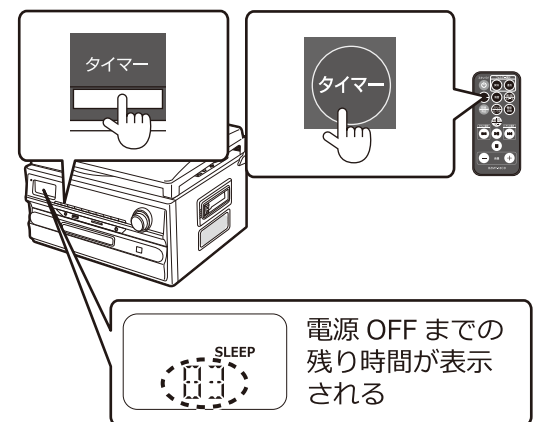


① 押すたびに、90→80→70→...→10→OFF の順に電源 OFF までの時間が切り換わります。  
 ※「90」= 90 分後に電源が切れる  
 「OFF」= 切タイマー設定なし

② 約 5 秒間操作がないと、表示された時間で設定が完了します。

時間を確認 / 変更するときは

切タイマー設定中のみ



※残り時間は 1 分単位まで表示されます。

■ 残り時間が表示された状態で【タイマーボタン】を押すと、時間を変更できます。



録音 / 消去について

録音 / 消去できるメディア

- USB メモリー**
  - ・バージョン 2.0
  - ・32GB まで
- SD/SDHC**
  - ・クラス 4
  - ・32GB まで

※CD への録音は  
できません。

※全ての録音 / 消去を保証するものではありません。  
ディスクの種類や録音状態や記録方法など  
によっては、再生できない場合があります。

メディアが認識されない場合

使用するメディアを「FAT32」の  
ファイルシステムでフォーマット  
してください。

録音速度

等倍速で録音されます。

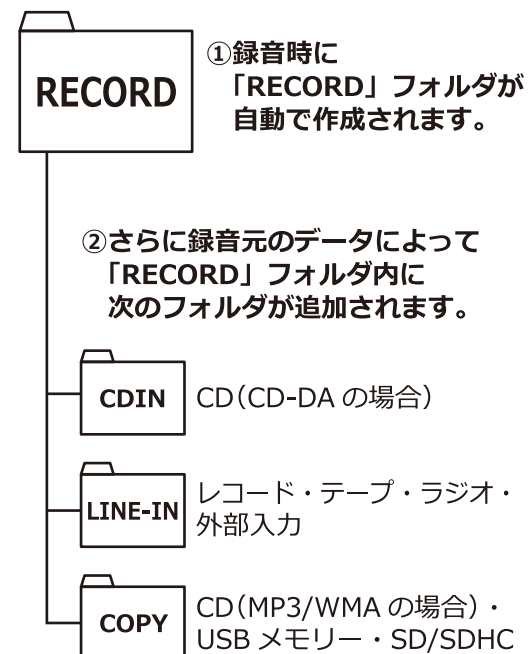
録音時の操作

録音中に「早送り」「早戻し」「スキップ」  
の操作はできません。

ラジオの録音について

録音中・録音後の音声は、電波の状況  
やお使いの環境により雑音が入ること  
があります。

録音時のフォルダ



メディアを抜く時は

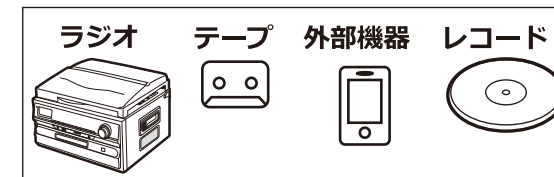
停止の状態になっていることを  
確認してからメディアを抜いて  
ください。

※録音中に停止しないで抜くとデータが  
破損する恐れがあります。

消去について

消去したデータは元に戻りません。  
データはあらかじめバックアップ  
していただくことをおすすめします。

録音をする① ※CD、USB メモリー、SD/SDHC の録音については、P33 をご覧ください。



1. 録音準備をする

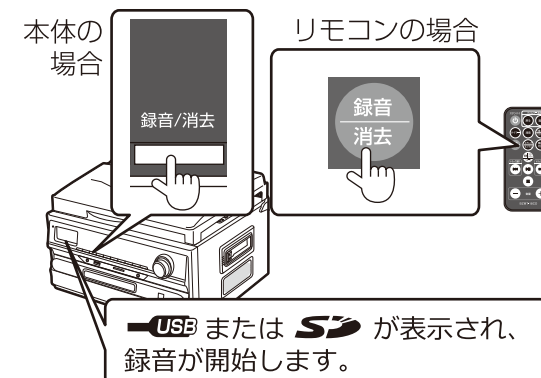
- ラジオ** 受信中の状態にしておく
- テープ** 曲が始まる前でテープを止めて  
取出しておく
- レコード** 針をおろせばすぐに再生できる  
ようにしておく
- 外部機器** 一時停止などにして、すぐに再生  
できるようにしておく

2. メディアを  
セットする



※両方挿入されている場合、USB メモリーが  
優先されます。

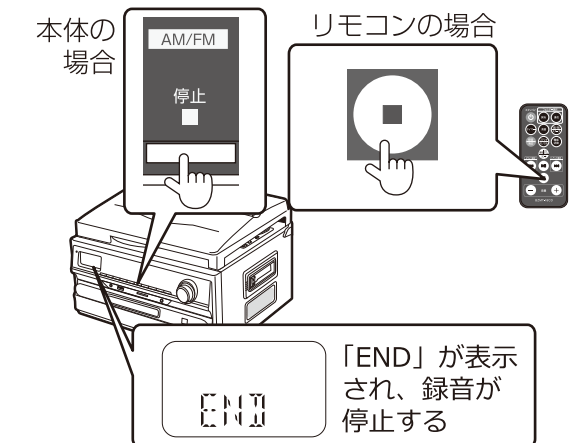
3. 【録音 / 消去ボタン】を押す



4. 録音元の再生をする

- ラジオ** そのまま受信中の状態にしておく
- テープ** テープを挿入して、再生を開始する
- レコード** 針をおろして、再生を開始する
- 外部機器** 再生を開始する

5. 録音が終わったら  
【停止ボタン】を押す



### 録音をする② ※ラジオ、テープ、レコード、外部機器の録音については、P32 をご覧ください。



#### 1. 録音準備をする

録音元のメディアをセットして、停止しておく

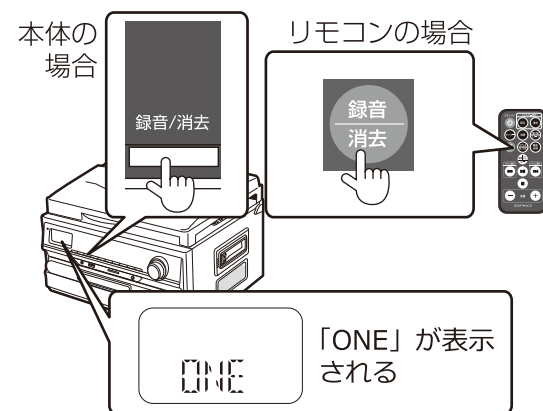
※1 曲のみ録音する場合は、録音したい曲の先頭で一時停止しておきます。

#### 2. メディアをセットする



※両方挿入されている場合、USB メモリーが優先されます。CD を録音する場合のみ

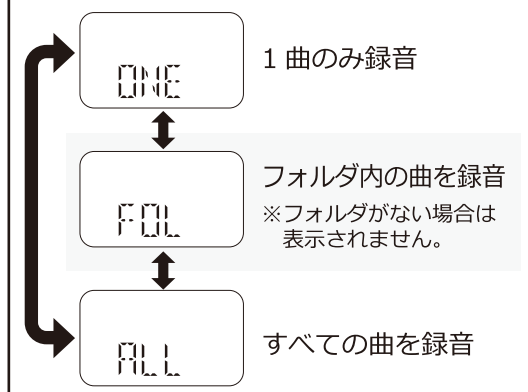
#### 3. 【録音 / 消去ボタン】を押す



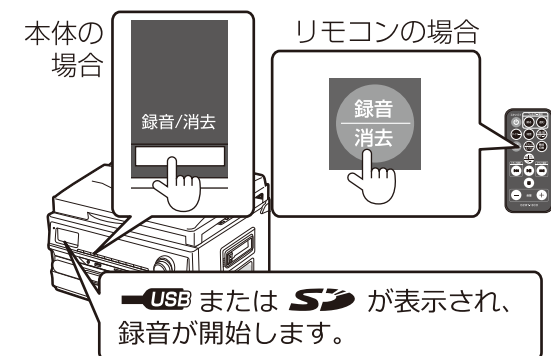
#### 4. 【前へ / 早戻しボタン】または【次へ / 早送りボタン】を押して録音する内容を選択する



※押すたびに表示が切り換わります。



#### 5. 【録音 / 消去ボタン】を押す



■録音が終わると、自動で停止します。  
■録音を中止する場合は【停止ボタン】を押してください。

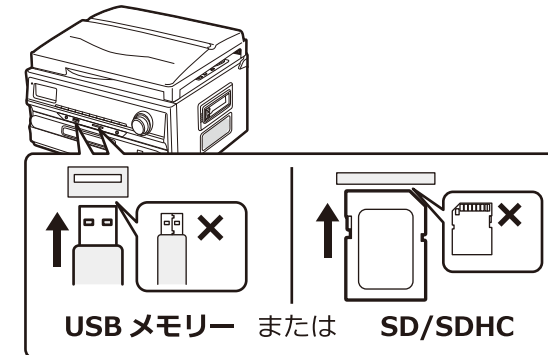
### 消去をする

#### 消去できるメディア



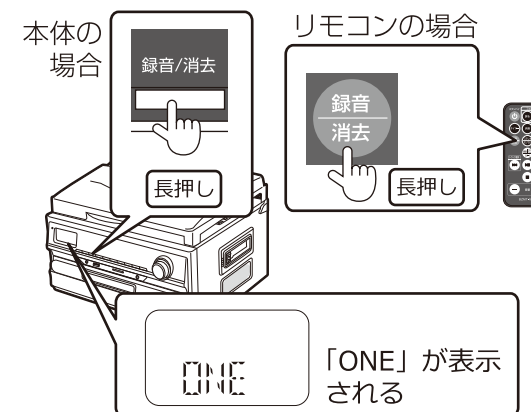
※CD の消去はできません。

#### 1. メディアをセットする

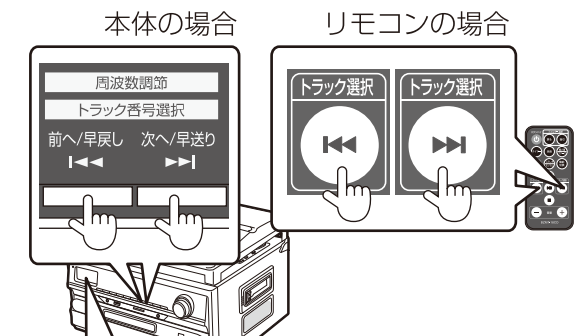


#### 2. 消去する曲を再生する

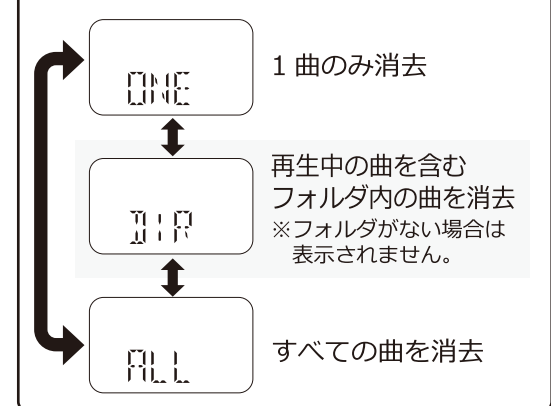
#### 3. 【録音 / 消去ボタン】を長押しする



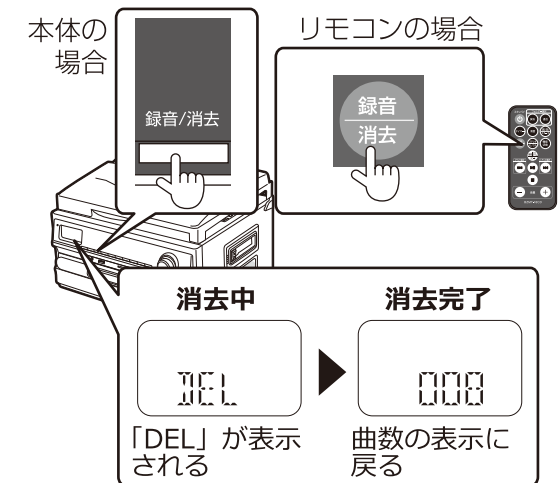
#### 4. 【前へ / 早戻しボタン】または【次へ / 早送りボタン】を押して消去する内容を選択する



※押すたびに表示が切り換わります。



#### 5. 【録音 / 消去ボタン】を押す



# お手入れのしかた

## おねがい

- 本機は次のような高温・低温・多湿の場所で使用しないでください。
  - ・風呂場
  - ・高熱を出す機器(暖房機器等)の前や周辺
  - ・直射日光の当たる場所
  - ・車内に放置する
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールは使用しないでください。

## ■ 本体表面

表面のほこりや汚れをやわらかい布で拭き取ってください。

※汚れがひどい場合は水分を含ませたやわらかい布をかたく絞って拭き、その後、から拭きしてください。

## ■ レコード部

針の先にほこりや汚れがたまっている場合は、やわらかいブラシ等で取り除いてください。

※針が摩耗している場合は、交換をしてください。

**レコード針 交換カートリッジ(別売)**  
品番 : BC-MT18CD

**販売価格 ¥500(税抜)**

※交換用のレコード針については、お買上げの販売店またはビズライフお客様サポートにお問い合わせください。

# 故障かなと思ったら

	症状	対処方法
共通部	電源が入らない	■ 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。 →電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	音が出ない	■ 本体の【電源 / 音量調節つまみ】は最適な位置になっていますか →本体の【電源 / 音量調節つまみ】を最適な位置まで回してください。 ■ ヘッドホン端子にプラグが差し込まれていませんか。 →ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。 ■ リモコンで消音にしていますか。 →リモコンの【消音ボタン】を押して、消音を解除してください。 ■ 静電気などにより、本体が誤動作をすることがあります。 →一旦電源を切り、その後電源を入れ直してください。 →改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて再度差し込んでください。
	雑音がある	■ 本体の近くに電磁波を出すもの(電子レンジやテレビなど)はありませんか。 →電磁波の出る製品から離れた場所に設置してください。
	本体が誤動作する	■ 静電気などにより、本体が誤動作をすることがあります。 →一旦電源を切り、その後電源を入れ直してください。 →改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて再度差し込んでください。
	リモコンが操作できない	■ リモコンの受光範囲を超えて操作していませんか。 →受光範囲内で操作をしてください。 ■ リモコンの電池残量は十分にありますか。 →新しい電池に交換をしてください。
ラジオ部	受信できない	■ P25 ~の説明に従って、受信方法を確認してください。
	雑音が入る	■ 本体の近くに電磁波を出すもの(電子レンジやテレビなど)はありませんか。 →電磁波の出る製品から離れた場所に設置してください。 ■ FM : アンテナの先は受信状態の良い方向に向いていますか。 →アンテナの先を受信状態の良い方向へ向けてください ■ AM : 製品は受信状態の良い方向に向いていますか。 →製品を受信状態の良い方向へ向けてください ※AM アンテナは内蔵されています
カセット部	音質が悪い	■ ヘッドが汚れていませんか。→ヘッドを清掃してください。

## ■ CD 部

音飛びなどが気になる場合は、ピックアップレンズのお手入れをしてください。

※お手入れは、市販のピックアップレンズクリーナーを使用してください。

使用方法については、レンズクリーナーの取扱説明書に従ってください。

## ■ カセット部

音質が悪くなったり、雑音が気になる場合は、再生ヘッドのお手入れをしてください。

※お手入れは、市販のクリーニングテープを使用してください。

使用方法については、クリーニングテープの取扱説明書に従ってください。

# 故障かなと思ったら

症状	対処方法	
レコーズ部	再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アームレストが上がったままになっていませんか。 →リフトレバーを手前に倒してアームを下ろしてください。</li> <li>■針の保護カバーがついていませんか。 →P7「レコード針のカバーを外す」に従って針の保護カバーを外してください。</li> <li>■レコードの種類によっては、オートストップ機能が「ON」になっていると止まる場合があります。 →シングル盤やSP盤の再生中に再生が止まる場合は、オートストップ機能を「OFF」にしてお試しください。</li> </ul>
	雑音が入ったり音飛びがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>■針にゴミやほこりがついていませんか。 →P35「レコード部」のお手入れ方法に従ってお手入れをしてください。</li> <li>■針がすり減っていませんか。 →P19「レコード針を交換する」に従って針の交換をしてください。</li> <li>■製品に振動を与えたり、不安定な場所に設置していませんか。 →振動の影響がない安定した場所に設置してください。</li> <li>■傷ついたレコードを再生していませんか。 →傷のないレコードをセットしてください。</li> </ul>
	不安定な音程で再生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■レコードに合った回転数で再生していますか。 →P20「レコードをセットする」に従って回転数を合わせてください。</li> </ul>
CD・USB・SD・SDHC部	ディスクやメディアを入れても読みとらないまたは再生しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ディスクやメディアは正しくセットされていますか。 →ディスクやメディアを正しくセットしてください。</li> <li>■対応のディスクやメディアを使用していますか。 →対応のディスクやメディアを使用してください。</li> <li>■対応のフォーマットになっていますか。 →対応フォーマットで記録されたディスクやメディアを再生してください。</li> <li>■USB、SD/SDHC：FAT32のファイルシステムでフォーマットされたメディアを使用していますか。 →パソコンでFAT32のファイルシステムにフォーマットしてください。</li> </ul>
	音飛びがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>■製品に振動を与えたり、不安定な場所に設置していませんか。 →振動の影響がない安定した場所に設置してください。</li> <li>■傷ついたディスクを再生していませんか。 →傷のないディスクをセットしてください。</li> </ul>

# 製品仕様

共通部	電源	AC100V 50/60Hz
	消費電力	13W
	入出力端子	USBポート(USB2.0対応)、SD/SDHCスロット、音声入力端子、音声出力端子、イヤホン端子 ※音声入力端子、イヤホン端子は3.5mmステレオミニプラグ対応です。
	リモコン電源	CR-2025×1個
	リモコン到達距離	本体リモコン受光部正面から3m、左右各30°の範囲
	寸法	(約)W315×D200×H295mm
	質量	(約)3.4kg
	コード長	(約)1.6m
スピーカー部	付属品	リモコン(テスト用電池付)、交換用レコード針(針材質:ルビー)×1、シングル用アダプター×1(本体に付属)、取扱説明書
	インピーダンス	8Ω 3W
	実用最大出力	1.5W+1.5W
	周波数特性	180Hz～16kHz
レコード部	スピーカーユニット	90×50mm
	S/N比	≥82dB
ラジオ部	回転数	33/45/78
	対応レコード	EP/LP/SP/シングル盤 ※シングル盤は付属のアダプターの使用が必要です。
カセット部	受信周波数帯域	【AM】 522～1629kHz 【FM】 76～90MHz
	対応テープ	Type1(ノーマル)
CD部	対応ディスク	CD、CD-R、CD-RW
	対応フォーマット	CD-DA、MP3、WMA
	対応ビットレート	64～320kbps
	サンプリング周波数	100Hz～18kHz
	チャンネル数	2チャンネルステレオ
	ピックアップレンズ	半導体レーザー



## 製品仕様

USB・SD/SDHC部	再生	対応メディア	USB2.0 SD/SDHC クラス4まで
		対応フォーマット	MP3、WMA
		対応メディア容量	USB : 32GBまで SD/SDHC : 32GBまで
		対応ビットレート	64 ~ 320kbps
	録音	対応メディア	USB2.0 SD/SDHC クラス4まで
		対応フォーマット	MP3
		対応メディア容量	USB : 32GBまで SD/SDHC : 32GBまで
		対応ビットレート	128kbps

※改良の為、仕様やデザインは予告なく変更する場合があります。  
※記載されているメディア・フォーマット等に関しましては、全ての再生を保証するものではありません。

## アフターサービス

### 保証書

- 保証書は販売店にて所定事項（販売店名、お買上げ年月日など）を記入もしくは、保証書添付レシートを印字してお渡ししますので、保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。（保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください）
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はお買上げの販売店又はサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

### 保証規定

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 修理はお買上げの販売店又はサービスセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
3. ご贈答、ご転居の際は、お買上げの販売店又はサービスセンターにご相談ください。
4. 次のような場合、保証中でも有料修理になります。
  - ・ 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷など天災地変による故障や損傷。
  - ・ 指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
  - ・ お買上げ後の落下、移動など運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
  - ・ 保証書の提示がない場合。
  - ・ 保証書にお客様名、お買上げ日、販売店名の記入がない、または字句を書き換えられた場合。
  - ・ 一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
  - ・ 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ・ 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)
6. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

### その他

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店又はサービスセンターにご相談ください。

**MEMO**

**MEMO**